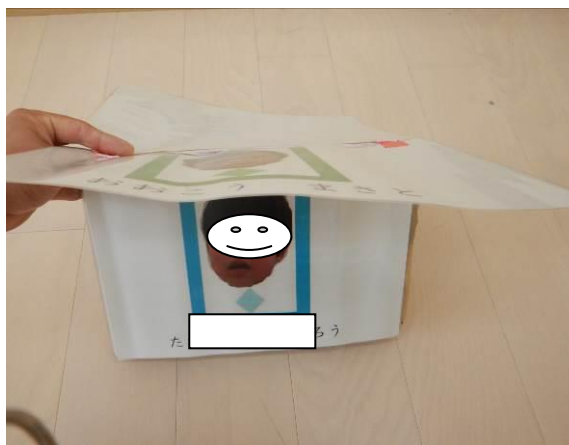


教材・教具名	バケツ 椅子	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 1年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>歩行が不安定で、低緊張で椅子だけでは座位を保ったり、首を挙げて前を注目したりするのが難しい児童に使用した。</p> <p>就学前の園で使用していたバケツを引き継いだが、椅子の高さと幅が合わなかったので、膝の長さや椅子とバケツの高さが合うように調整した。</p> <p>バケツは手前部分が2 cmくらい盛り上がり、腰にかけてなだらかにカーブして沈んでいるが、この起伏があることで座位が楽に長時間保てている。</p> <p>また、腰の周りをぴったり包むような周囲がついていることで、自然と姿勢が保てるように工夫されている。</p> <p>2 その他</p> <p>絵本の読み聞かせやテレビのモニターに注目して見る時間が長くなった。また、座位がきちんと保てることで、手遊びなどの模倣が出る場面も見られた。</p> <p>これまで使い慣れた感覚の用具があることで新しい環境の中でも安心できる利点もあるように感じられる。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	「順番がくるまで待ちましょう」	教科・領域等	遊びの指導・生活単元学習
情報提供者	小学部 1年		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

○ ねらい

： 普段から使用している名前カード（顔写真、児童カラー付）を使用しためくり式にすることで、今からの活動（目の前で行われている活動）を誰が行うのかを確認したり、自分の順番まで待ったりすることができる。

○ 使用場面

： 日常生活、遊びの指導、生活単元学習など。遊具を待つ場面や、前に出て活動する場面で使用した。

○ 使用をしてみて

： 「自分がやりたい！」という気持ちが強く、順番が待てなかった児童が、顔写真に注目しており、友達の顔写真がめくられた際には、「あーあ。」自分の顔写真がめくられた際には、「やった！」と言って活動し、順番を少しずつ意識できるようになってきている。また、活動の際に、足取りの重かった児童も「あ！僕の番か。」と自分から前に出ることができるようになった。

○ 今後の活用について

： めくる係を決めたり、手順カードへと応用していきたい。また、順番を待てば、楽しいことが待っているという意識付けにも継続して取り組んでいきたい。

参考文献・Web

ねらい	◎本人の分かりやすい絵カードやシンボルカードを使用しためぐり式にすることで、今から行う活動を提示し、どこまでやったかを自分で確認することができる。
生活場面	掃除、係活動、着替え、排せつ、生活全般
対象児童生徒について	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉的傾向 ・こだわりが強く、活動が止まってしまうことが多い。 ・次の活動への移り変わりがスムーズにいかない。 ・高等部 1年
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動、昼の活動、帰りの活動などで使用した。 ・本人の机の上に置き、次の活動を提示した。一つ終わったら、自分でめぐり、次の活動を確認する。 ・流れが分からないうちは声掛けなどが必要であるが、分かってきたら指示を出さずに自分で次の活動を確認する。
あらわれ	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの活動にこだわってしまったり、しっかりできるか不安になったりすることがあったが、どのくらい行うのかと順番が分かり、自分のやりたい活動が入っていることで、落ち着いて取り組むことができるようになってきている。 ・常に教員に確認することが多かったが、活動を明確化することで流れが分かり、確認することが減り、自分から動けるようになってきている。
作成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・次の活動が分かる、どのくらいで終わるかが分かる、好きな活動が用意されているなどをポイントにする。 ・生徒の実態に応じて、シンボルカード、絵カード、写真カード等を使用する。 ・必要に応じてラミネート加工する。

教材・教具名	たんぽ	教科・領域等	図画工作
情報提供者	小学部 1年		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> ① ② ③ </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>図画工作の「スタンプで遊ぼう」の学習で使用。</p> <p>児童の実態に応じて、様々な種類のたんぽを用意しておき、使いやすいものを使用できるようにする。</p> <p>①は、既製品</p> <p>②は、子どもの手の大きさに合うように、スポンジを半分に切って使用した。</p> <p>③は、接地面を大きくするために、スポンジ1個を使用。スポンジを半分に折って割り箸に挟み、輪ゴムでとめて作った。</p> <p>2 その他</p> <p>③のたんぽに使用しているスポンジを小さくせずに使用することで、スタンプできる範囲が大きくなり、紙に色がついた、ということが分かりやすくなった。また、様々な大きさや、形のたんぽを用意したことで、児童は、自分から使いたいものを選んでスタンプしていたので、楽しんで学習に取り組めた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	「同じ色に入れよう」	教科・領域等	算数科・自立活動
情報提供者	小学部 1年		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

- ・ 色合わせをしながら、数え棒や色クリップをケースに入れる。(色の弁別活動)
- ・ 数え棒については、赤色、青色、黄色、緑色の4色のケースのみを使用し、色クリップについては、橙色や桃色を加えた6色のケースを使用する。何色で取り組むかについては、個々の実態やねらいによる。
- ・ 数え棒も色クリップも、三指でつまんでケースの穴に差し込んで入れる。数え棒については、長さがあるため、ケースの穴に入れるときに難しさがああり、クリップは小さくて短いため、つまむ難易度が高くなると思われる。(手指の操作活動、目と手の協応動作)

2 その他

- ・ ケースは、綿棒の容器を使用。容器の蓋に穴を開け、その周囲にカラービニールテープを貼って製作。
- ・ 半透明であるため、中に入れた数え棒や色クリップが見えやすい。

参考文献・Web

教材・教具名	「つまんでポン」	教科・領域等	算数・自立活動
情報提供者	小学部 1年		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

- ・ 大きさの異なるボタン、プラスチックメダルを三指でつまんでケースの蓋にあるスリットに差し込んで入れる。
- ・ スリットの角度や、容器の向きを変えることによって、中指による調整や手首の回旋によって、手指の操作性を向上させることを目指す。
- ・ 児童の認知状況によって、色を指定するなどの活動も行う。


2 その他

- ・ 事前に作業する枚数のみをざらに乗せることで、終了の見通しを持たせるようにしている。
- ・ 半透明の容器を使用することで、自分が入れたものを見ることができる。
- ・ スリットの幅を調整することで、難度の調整が図れる。

参考文献・Web

教材・教具名	スポンジ筆	教科・領域等	図画工作
情報提供者	小学部 1年		
教材・教具写真			
   			
1 教材・教具の説明			
<p>重複児童の図画工作の授業で使用した。スポンジをスタンプのようにして使用したかったのだが、小学部1年生でまだ手が小さく、握る力も弱く、柔らかいスポンジをそのまま握って使用することが難しい児童も多くいたため、持ち手をダンボールで製作した。</p> <p>スポンジを挟み込んでぐるぐる巻いて棒状にし、テープで止めただけのものだが、ダンボールなので、握ったときにちょうどよい柔らかさもあり、握りやすかった。また、長さを短めにしたことで、児童によって色々な持ち方で持つことができた。児童によっては、持ち手に角度をつけてより持ち易いように工夫した。</p>			
2 その他			
<p>太さ、長さを少しずつ変えて数本準備していたので、授業中にもう少し細いのにしよう、短いのにしよう、と児童の手の動きを見て臨機応変に対応することができた。ダンボールとスポンジというどこにでも手に入るもので簡単に作れるのが良かった。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ぐりとぐら人形&カステラ	教科・領域等	国語
情報提供者	小学部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 20cm×横 15cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>絵本「ぐりとぐら」の人形を作りました。今まで読んできた絵本に比べ、「ぐりとぐら」は話が長く、内容も少し難しかったですが、人形を使うことで、児童が絵本に注目し、物語を楽しめるようにしました。</p> <p>また、絵本に出てくるカステラも人形と一緒に作りました。カステラができあがった場面で、ぐりとぐら（人形）がカステラを一人一人に配り、みんなで一緒に食べることで児童がよりストーリーを楽しめるようにしました。</p> <p>2 その他</p> <p>ぐりとぐらの人形は、動きが出るようにしたかったので、カラー軍手を使い、手の部分に指を入れて人形の手が動くように工夫しました。「ぼくらのなまえはぐりとぐら 絵本「ぐりとぐら」のすべて」(福音館書店)という本には型紙も載っており、参考にしました。</p> <p>「ぐりとぐら」の絵本を見ると、人形が出てくることを期待していた児童や、休憩中にこの人形で遊ぶ児童がいました。人形の動きに加えて、「♪ぼくらのなまえはぐりとぐら～」という歌を伴奏つきで歌うことで、嬉しそうにしている児童や、授業以外でも口ずさんでいる児童の姿を見ることができました。</p>			
参考文献・Web	「ぼくらのなまえはぐりとぐら 絵本「ぐりとぐら」のすべて」		

教材・教具名	場所カード	教科・領域等	算数
情報提供者	小学部 2年		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>算数「すうじのうた」の単元をフラッシュメーカー3で作成した教材である。電子黒板のタッチパネルを使用して、子どもたちが直接タッチ操作を通して学習を進めていく。1～10までの数字を曲に合わせて順に並べたり、穴埋め問題に取り組んだり、子どもたちの実態に合わせて課題を変えている。「すうじのうた」を数字ごとに曲を区切り、タッチすることでその数字の曲が流れる仕組みになっている。間違えた数字をタッチすると、画面から「ちがうよ!」という音声が出る。この教材によって子どもたちの関心・意欲が向上し、数字に対して楽しいという思いをもって学習をすることができた。今後もこの教材を発展させて、20までの数字や数概念への学習にも取り組んでいきたいと考えている。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	流れ星	教科・領域等	音楽
情報提供者	小学部 2年		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

- ・ 「たなばたさま」の曲を聴きながら、夏の夜空をイメージしやすくするためにブラックライトをあてた星空を眺める。その際、この流れ星を斜めに張ったハリスに通して、星が流れるようにした。
- ・ 流れ星が流れるタイミングでツリーチャイムを鳴らして、流れ星が流れたことをより意識できるようにした。
 - ・ 流れ星は、人が心地よいと感じる動きになるように、右上から左下に流れるようにした。

2 その他

- ・ 流れ星は、ゆっくりと流れるようにするために、軽い紙粘土で制作した。
- ・ ブラックライトで光るように、蛍光塗料で色を付けた。
- ・ 流れ星にビーズを付けて、ハリスに通すことができるようにした。

参考文献・Web

教材・教具名	ストロー吹き矢	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>本学級は、児童2名が在籍していて、発声は「あ」などの短音のみで、息を強く吹いたり、長く吹いたりすることが苦手な児童と、「かあか」などいくつか覚えている単語は言えるが、明瞭な発声が難しい児童がいる。また、二人とも常に口が開いていることから、口唇周囲の筋肉が弱いと考えられる。そこで、口唇を鍛えながら、強く長い息を吐く力を付け、発声につなげて欲しいという思いから、本教材を作成した。</p> <p>この教材は、ストローの中に綿棒を入れ、ストローを吹いて、綿棒を的に当てることで、目の前にある的に倒すというものである。授業で活用してみると、児童は興味を持って、活動する様子が見られた。また、徐々にストローで息を吐くコツをつかみ、数回、綿棒を飛ばすことができた児童も居た。しかし、ストローを吸ってしまい、綿棒が口の中に入ってしまったり、ストローをすぐに噛んでしまい、息を吹いても綿棒が飛ばなくなってしまうことがあった。何度も活動を繰り返すことで、口唇を閉じて強く長い息を吐くコツをつかんでほしい。そのためにも、継続的に取り組んでいきたい。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	スライム	教科・領域等	図画工作
情報提供者	小学部 2年		



1 教材・教具の説明

スライムの作り方やよさ

- ・ 2液を混合すれば、スライムが目の前でできるようにしておく。
- ・ A液・PVA洗濯糊500ml + 水750ml ~ 1000ml = 計1250 ~ 1500ml
- ・ B液・ほう砂5g + 食紅耳かき一杯 + 水125ml = 約125ml
- ・ 児童が作ることもやってみた。その時は、作る工程で、手を汚さず、口に入る危険をなくすために、ビニール袋内で2液を混合する方法をとった。2液を混合し混ぜるうちに、次第に塊ができてきて重く絡み付いてくる感覚を味わえる。
- ・ A液の水の量で、スライムの硬さが決まるが、できた後でも水を加え、よく混ぜると柔らかくなる。
- ・ タラタラたれるくらい柔らかいものや、まとまって塊になる硬いものなど、スライムは硬さの調整ができるので、児童の感覚的な好みや苦手意識に合わせることができる。

活動のねらい



- ・ 小学部低学年であることと、肢体不自由があり自らいろいろな物に触った経験が少ない児童達なので、基本的に道具を使う前に、しっかりと素材に手で関わることを大事にしてきた。手指の力が弱い児童が多いため、たやすく形を変えられ、手が汚れることや感触に敏感な児童のために、はがれやすい物としてスライムは有効である。
- ・ スライムの特性として、まとまったり垂れ下ったりすること、絡みつくこと、粘土より柔らかいこと。着色することにより透明な美しい物になることなどから、児童も視線を向け、手指で小さくまた腕でダイナミックに関わる姿が見られた。
- ・ 本グループには、目の見えない児童もいるが、感触を味わう様子が見られた。

参考文献・Web

いろいろなものが出ています。「スライムの作り方」で検索

教材・教具名	カラーリズムトレーニングラダー	教科・領域等	体育・自立活動
情報提供者	小学部 3年		
教材・教具写真 (規格:縦480cm×横42cm×高さ0cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>ハードル走・またぎ越しの前段階のトレーニングとして、「同じリズム・同じ歩幅を意識して歩く」ためのトレーニング用具として考案した。</p> <p>従来、陸上用品としてあるラダーの歩幅は大きめで、線を意識することにより、面で捉えて、空間に足を置いていくものであるが、児童にとっては分かりにくく、線を踏むことにより、あるいはラダーの凹凸を足裏で感じることににより、歩く児童が大半で、従来の使い方に慣れるのに、時間がかかる。</p> <p>そこで、面で捉えることができるよう、いろいろな色の色紙をベースに置き、連結させることで、見た目捉えやすく、歩行の歩幅も少し小さめにするにより、歩きやすいようにした。</p> <p>また、面は16枚あり、線路に似ていることから、「線路は続くよどこまでも」の歌を1フレーズ歌うことにより「歌に合わせてながらリズムよく足で面を踏んで歩く」が更に効果的にこなうことができる。</p> <p>トレーニング方法は多様で、例えば10～20メートル先に横使いにこのラダーを置き、指定された色へ向かって走るタッチ走、両端から2人で歩いてのじゃんけん遊び、片脚立ちや腿上げ、色の学習としても使用可能である。</p> <p>改善点としては、スピードを上げるにより転倒しないように、事前の指導と注意をすることが必要である。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	濁音、半濁音、拗音を読んでもよう	教科・領域等	国語
情報提供者	小学部 3年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>濁音、半濁音、拗音が読めない児童に対して、作成した。児童の興味のあるような単語、日常生活で使用する単語の中から精選して作成した。文字と一緒に読んで読み方を確認した後に単語を読むようにした。単語の中で濁音、半濁音、拗音を赤文字にしたことで、より意識できるようにした。横にタグを付けることで、自分の読みたい文字をすぐに見つけることができるようにした。</p> <p>使用してみて、児童の興味関心のあるイラストや写真を用いたことで、自発的にこのカードを出してきて、国語の学習以外の時間にも、見たり読んだりする姿が見られた。繰り返し取り組む中で、濁音、半濁音、拗音を正しく読むことができるようになってきた。</p> <p>2 その他</p> <p>単語の数を徐々に増やし、言葉を増やしていくとともに般化できるようにしていくとよい。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	準備・片付けカード	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	小学部 3年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>朝や帰りの服や靴の着替え、準備・片付けに、進んで取り組ませることを目標に、A児の持ち物の写真とその名前を一枚のカードにし、ランダムに白板に貼っている。</p> <p>まず何から準備や片付けを始めるか選択させ、終了したら、終了した内容を示すカードを横にずらし、次は何をするか選択させ、続けて準備・片付けに取り組めるようにしている。</p> <p>A児は、ただ言葉掛けをするだけでは準備・片付けに取り掛かろうとせず、いすに座ったままだったが、このカードを使用することで、自分で準備や片付けに取り掛かろうとすることができるようになった。また、だんだんと、A児自身が、取り組む順番を把握し、このカードの前はこのカードと、考えるようになってきた。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ああおいしい	教科・領域等	国語
情報提供者	小学部 3年		
教材・教具写真 (規格:縦 9cm×横 13cm×高さ 2cm くらい)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象: 肢体不自由を伴う重複障害児童・生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育てたい力: ・二つの異なった物を見比べる力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象を見て、選び取る力 ・ 手を伸ばして、持ち手を握る力 <p>2) 使い方: ①「♪ああおいしい」(新沢としひこ)の歌に合わせながら、一つずつ食べ物の名前を確認してパペットに食べさせるシアターを行う。</p> <p>②二つのパネルを見せて、「〇〇がたべたい」とパペットに言わせる。</p> <p>③児童が正しい方を選び取ってパペットの口に持って行く。</p> <p>2 その他</p> <p>重複児童でも取りやすいように、針金とホースで持ち手を付けた。選び取ることのできる児童は、二つの物を見比べて、持ち手をもち取ることができるようになってきた。実際に手を動かして取ることは難しい児童も、パネルを目の前に持って行って「どっち?」と聞くと、視線や口を動かすことで正しい方を答えていた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	名前カード	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	小学部 4年		

教材・教具写真 (規格：縦 30cm×横 10cm)



1 教材・教具の説明

平仮名に興味をもち始めた児童に対して、「平仮名で書かれた自分の名前が分かる」ために毎日取り組むことのできるものとして、名前カードを作成した。以前は、「文字」「色」「顔写真」すべての要素を含んだ名前カードを使用していたが、文字の部分だけを取り外せる形にし、色や顔写真の要素を取り除いた。文字カードのみの名前カードも考えたが、まだ文字を読むことが難しい児童には色や顔写真が必要であることや、日常生活の中では自分の色や顔写真をマッチングする場面があること等も考慮し、色と顔写真も今まで通り残すことのできる形にした。また、文字カードと台紙部分は児童が簡単に貼ったり剥がしたりができるようにマジックテープで取り外しができるようにした。

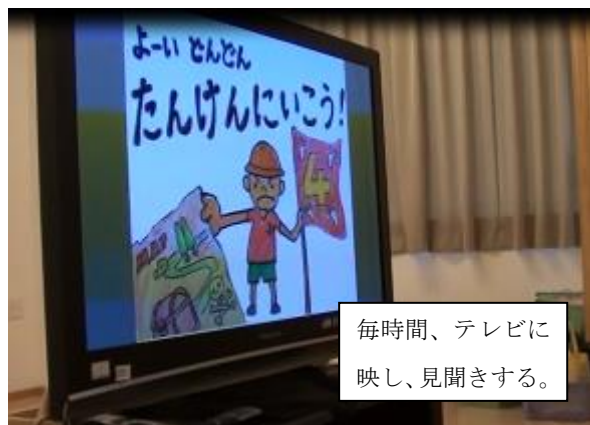
朝の会では、当番児童が文字カードを読み、友達に渡す。渡された児童は自分の色と顔写真のついた台紙に文字カードを貼るということに取り組んでいる。

毎朝必ず行う名前呼びで使用できるため、繰り返し取り組むことができ、自分の名前や友達の名前を文字カードだけで判別して読むことができるようになってきた。

2 その他

教材・教具名	宿泊学習シアター	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	小学部 4年		

教材・教具写真



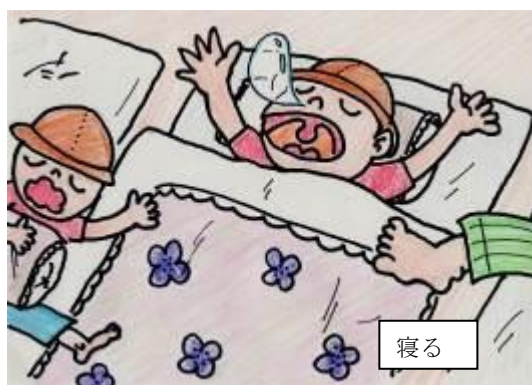
毎時間、テレビに
映し、見聞きする。



夜ご飯
(お好み焼き)



お風呂



寝る

1 教材・教具の説明


初めての宿泊学習に対して、大まかな活動の見通しをもち、興味や楽しみな気持ちをもって宿泊に臨めるよう、シアターを作成した。絵を見ただけでも活動が伝わりやすいよう、絵の情報を精選したり、「徳川のお好み焼きのテーマ」「いい湯だな」等、活動ごとのテーマソングをシアターと一緒に流すことで、活動に楽しいイメージをもたせるように工夫した。

2 その他

活動ごとにイラストやテーマソングを用いたシアターを見聞きすることで、活動に見通しをもつ児童や、シアターから大好きな活動を見つけ、意欲的に取り組む様子が見られた。

また、シアターの画像を用いて、学習カードや日程表を作成することにより、「シアターで見聞きした話を自分達もやってみよう。」と新しい活動に混乱なく向かう様子が見られた。

参考文献・Web

教材・教具名	カラフルおばけ	教科・領域等	算数
情報提供者	小学部 4年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>算数の色の学習で赤と緑を判別するために製作した。「カラフル温泉」の替え歌を歌いながら行った。まず白いおばけがやってきて赤い温泉に入る。すると何も見えなくなる。赤いクッションボールを引っ張ると・・・白いおばけが赤いおばけに変わって出てくるというものである。</p> <p>本学級の児童はこれまで赤と緑のビックマックを押し分ける活動を経験してきたので、少し難易度を上げて引っ張ることで色を判別するという活動ができるようにした。</p> <p>2 その他</p> <p>制作方法</p> <p>①段ボール箱の前面を切り取りに黒い画用紙で覆う。</p> <p>②上部に穴をあけ、色紐を通す。</p> <p>③色紐の先端に赤いおばけ、もう一方に赤いクッションボールを付ける。おばけの下にも紐を付けて箱に固定し、クッションボールの方の紐を強く引っ張ってもおばけが抜けたりゆらゆら揺れたりしないようにした。</p> <p>まだ、赤と緑を判別して引っ張ることは難しかったが、「引っ張る」と自分の興味のあるおばけが出てくるという因果関係がわかるようになった。</p>			
参考文献・Web	「カラフル温泉」 増田裕子のミュージックパネル「ねこのお医者さん」より		

教材・教具名	くるるん かさ	教科・領域等	音楽
情報提供者	小学部 4年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
	①	②	
			
1 教材・教具の説明	<p>「つゆになったよ」という単元の中で、歌唱の曲で「くるるん かさ」を取り上げた。曲のイメージをもたせるために提示した。</p> <p>上記写真は1番の歌詞の時に提示したものである。「かえるのかさはどんなかさ」でかえるを貼り、「くるるんくるるんくるるんくるるんくるるんくるるんくるるんくるるんくるるん」で実物の緑の傘を回し、そして最後に「緑のかさ げろげろ」で、緑の傘を貼った。</p> <p>それぞれの絵の裏にマジックテープを貼って置いて、貼るようにした。</p> <p>1番が終わると全部はがし、同じ要領で2番の「からすのかさ」3番の「わたしのかさ」も同様にして貼っていった。</p> <p>一度に貼るのでなく、歌詞の流れとともに一つずつ絵を提示して一つずつに集中して見ることができるようにしたことと、マジックテープで貼ったりはがしたりできるようにしたのが主な工夫点である。</p>		
2 その他	<p>梅雨の季節なので、色模造紙にカタツムリや雨を色ペンで書いておき、アジサイは折り紙で折って、貼り付けておいた。それを移動式のホワイトボードに貼って提示した。</p>		
参考文献・Web	CD「うたってあそぼう」ケロポンズ より 「くるるんかさ」		

教材・教具名	『ぞうくんのさんぽ』デジタル絵本	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 5年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
   			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>絵本「ぞうくんのさんぽ」(作・絵/なかのひろたか (株)福音館書店刊)に動きや BGM、効果音をつけ、デジタル絵本を作成した。</p> <p>児童がより物語の世界に注目することをねらって、動物が登場するシーンや、上に上に重なって行くシーン、重さに耐えきれずぞうくんがこけて池にみんなが落ちこちてしまうシーンに動きをつけた。また、転換した場面に、より気づくことができるよう、BGM や効果音を場面に応じて使用している。さらに、話をしている動物に目がいくように、動物が話している時に背景色がつくように工夫した。学級の児童の実態として、平仮名を読むことができる児童は1名のみのため、絵本の中の字は消去してある。</p> <p>2 その他</p> <p>●活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトのスライドショーで絵本の読み聞かせをする。 <p>●活用上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを大型モニターに接続し、児童全員に絵本の内容が見えるよう環境を整える <p>●児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの物事に長い間注目することが難しい実態があるが、絵本全体に児童が好きな音 (BGM) がついていたり、重要場面に、効果音や動きがついたりしているため、絵本に注目していた。 			
参考文献・Web	http://www.fuzoku-se.oku.ed.jp/digital/lessons/04/04.html		

教材・教具名	お天気坊や	教科・領域等	音楽
情報提供者	小学部 5年		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

○ねらいとして

児童が画面に触れると、画面に映し出されている天気に変化していくようになっている。曲「おてんきぼうや」の歌詞、「ぱぴぷぺぽ」の「ぽ」に合わせて画面をタッチすることや、画面の変化に興味をもって手を伸ばすことをねらいとしている。回数を重ねるごとに、活動への理解が深まり、児童によっては、「ぱぴぷぺぽ」と歌いながら画面にタッチしたり、タイミングを合わせてタッチしたりする様子が見られた。

○提示の工夫

画面の変化がよく分かるように、画面に使う天気の写真は差がつくようにした。また、気分が高まるよう、お天気坊や手袋を用意し、それを手にはめて画面にタッチするようにした。

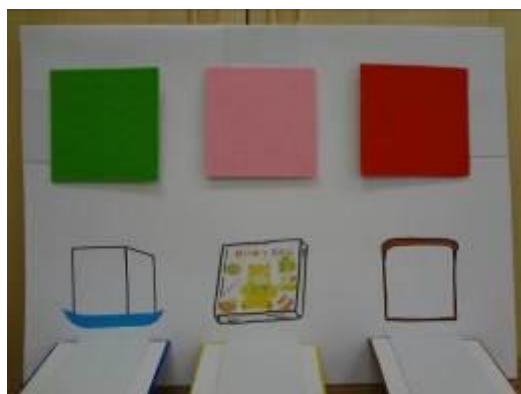
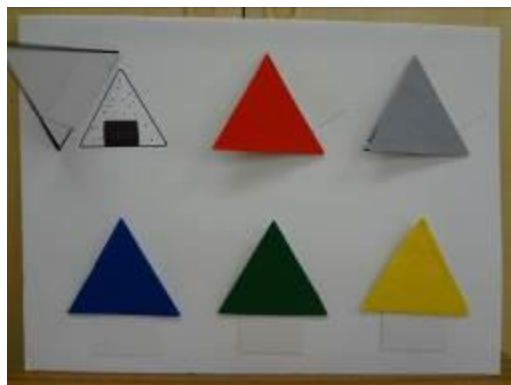
2 その他

電子黒板を用いての活動も考えたが、画面を連打してしまうと次々天気が変わってしまい、ねらいを達成することができないので、今回は、無線マウスを使用し、遠隔操作で行った。

参考文献・Web

教材・教具名	さよならさんかく	教科・領域等	算数
情報提供者	小学部 5年		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

○ ねらいとして

丸・三角・四角の形に興味をもって、見たり触ったりすることをねらいとしている。それぞれの形の下にはイラストが隠れていて、「次に何が出てくるのだろうか？」という、児童の興味・関心を高められるようになってきている。実態に応じて、「青色の丸をめくって」や、「パンが隠れている形をめくって」など、問いかけを工夫することができるようになってきている。回数を重ねるごとに、児童の興味関心が高まる様子がよくみられた。

○ 提示の工夫

楽しい気持ちで活動ができるよう、「さよならさんかく」の歌に合わせて活動を行った。

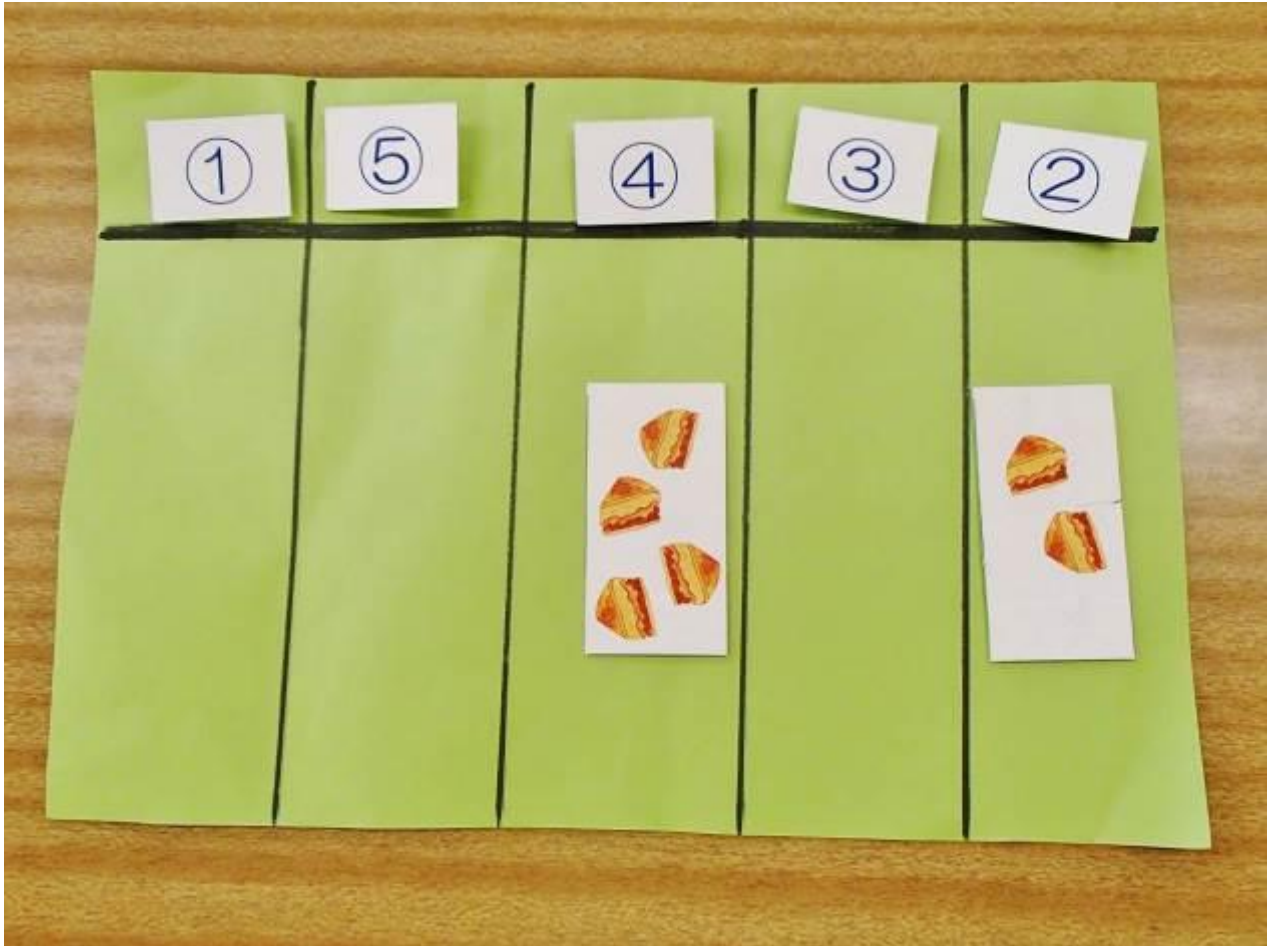
2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	数合わせ	教科・領域等	算数
--------	------	--------	----

情報提供者	小学部 6年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)



1 教材・教具の説明

- ・ 1 から 5 の数と半具体物（絵カード）の数を合わせる。
- ・ ①から⑤のカードはマジックテープで付いており、位置を変えることができる。
- ・ 絵カードは、絵を変えて、規則的に並べたものや不規則に並べたものなど、数種類使用している。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	縫い刺しセット	教科・領域等	自立活動
--------	---------	--------	------

情報提供者	小学部 6年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

- ・ 2種類の印を付け、点は上から針を刺し、三角は下から針を刺すようにし、裁縫の初期段階を練習する。
- ・ 扱いやすいよう、布が張るように枠を付けている。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	色形マトリックスボード	教科・領域等	算数科
--------	-------------	--------	-----

情報提供者	小学部 6年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦25cm×横35cm)



1 教材・教具の説明

- ・ 縦軸や横軸を見て、その特徴に応じた色や形のカードを貼って完成させていくボードです。
- ・ カードはすべてマジックテープがついているため、いろいろなバリエーションで行うことができます。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	集めて集めて	教科・領域等	自立活動
--------	--------	--------	------

情報提供者	小学部 6年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦25cm×横35cm)




1 教材・教具の説明

- 物をつまむことはできるが、指の分化が進んでいないため、指を閉じて水ですくったり物を載せたりが苦手な児童に、指をくっつけて手の平の部分を丸める練習をするため、ビーズを集めることを考えた。フラットな部分で手を動かしてカップに集めることができるようにバットの高さに合うように天板を付けて、端のカップにビーズを集めて落とせるようにした。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	うしろにいろのだあれ (うみのなかま)	教科・領域等	算数科
情報提供者	小学部 6年		
<p>教材・教具写真 (規格：縦25cm×横35cm)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>もとのボード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>貼り付けるとこんなかんじ</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>貼り付けるもの</p> </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本「うしろにいろのだあれ～うみのなかま～」にでてくる動物たちを形や手の感触などを楽しみながらマッチングしていくもの。 ・ 動物ごとに違った手触りになるように材料を変え、様々な感触を味わうことができるようにしている。 ・ 車椅子の児童がいることなどを考え、手の届きやすい位置に持ち運べるようにボードにし、また、貼り易いように昇降する斜面台の大きさになるように設定した。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	国語プリント (ひらがな)	教科・領域等	国語
--------	---------------	--------	----

情報提供者	中学部 1年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)

ア



文字入りプリント

イ



文字なしプリント

ウ



二文字カード

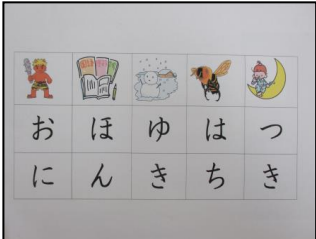
エ




一文字

1 教材・教具の説明


A




B




C



D



E



F

最後に、イのプリントにひらがな文字が書けるようになる。

- 1 Aのプリントの上にBのようにひらがな二文字カード(「つき」「はち」など)を置く。
- 2 二文字のカードが置けるようになったらCのように一文字ずつ置いていく。
- 3 2ができたら、Dのように文字のないプリントに二文字カード(「つき」など二文字)を置く。
- 4 Dができるようになったら、一文字ずつ置いていく

★このような方法を繰り返し行うことで、文字を書くことへ発展させていく。

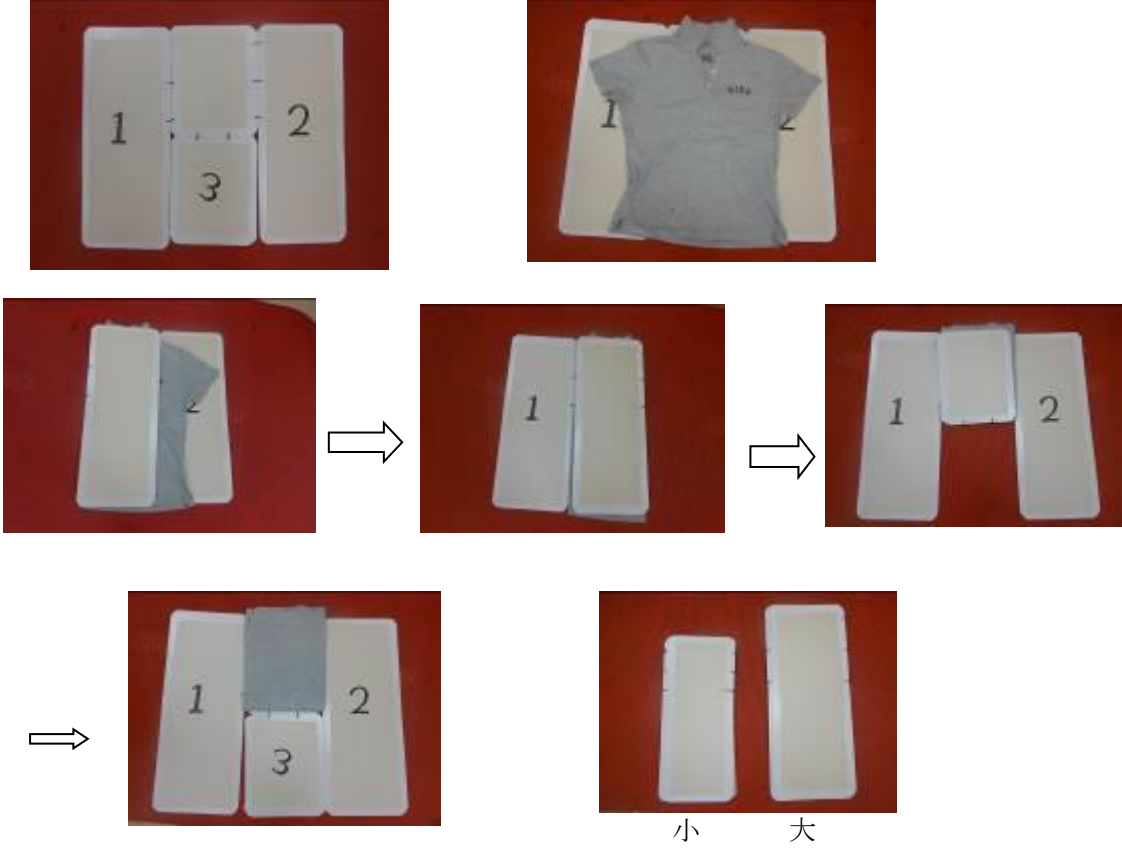
参考文献・Web	
----------	--

教材・教具名	位別お金シート	教科・領域等	数学
情報提供者	中学部 1年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 金種を知り、指定された金額のお金をそろえることができるようになるために、位別練習シートを作った。「一の位」に1円硬貨、「十の位」に10円硬貨、「百の位」に100円硬貨を置いて金額をそろえる。指定した金額は位別シートの一番下にクリップで取り付け、そろえることができたなら取り外し、別の金額を取り付けて硬貨を並べる練習を繰り返した。 ○ 位別になっているのでわかりやすく、生徒が一人で活動することができた。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	服畳み器	教科・領域等	自立活動・日常生活の時間
--------	------	--------	--------------

情報提供者	中学部 1年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦 $\text{cm} \times$ 横 $\text{cm} \times$ 高さ cm)



1 教材・教具の説明

着替えが終わった後の服を、一人で畳めないかと考えた。市販の支援教材を参考に作った。体が大きい生徒は大で、小さい生徒は小を使って取り組んだ。平面にきちんと服を置くことができたなら、右、左、下と板を倒せば簡単に畳むことができる。生徒は積極的に使い、徐々にこの板がなくても畳めることができるようになってきた。

2 その他

参考文献・Web	
----------	--

教材・教具名	ペットボトルのキャップ外し	教科・領域等	数学
情報提供者	中学部 1年 3組 氏名 森岡 由美子		

キャップを外すと中から様々な香りがします。



キャップを入れると音がします。

1 教材・教具の説明

4つのペットボトルキャップを外して、手前の小さな穴に入れる教材。キャップを外すとペットボトルの中から、レモンや花の香りがするようになっており、手前の穴にキャップを入れると「カラン。」と音がするようになっている。教材に視線が集中しにくい生徒を対象に、聴覚、嗅覚、触覚を刺激し、教材に意識を向けられるように制作した。

2 その他

数学や自立活動の時間に使用している教材。教室備品の黄色い箱が付いた棚の中に置いている。黄色い箱の側面には、教材番号と写真が貼ってあり、番号や写真を見て生徒が自分で教材を取りに行くことができるようになっている。

参考文献・Web








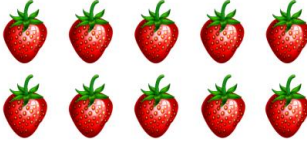


DVD「わかる・できる！親と教師のための自閉症の子どもの自立課題」
※DVDの参考作品をもとに生徒の実態に合わせて制作した。

教材・教具名	ゴム跳び	教科・領域等	保健体育
情報提供者	中学部 1年		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text" value=""/> cm×横 <input type="text" value=""/> cm×高さ <input type="text" value=""/> cm)		
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の授業で始めに行う「サーキット運動」で使用した。 ・ 生徒が跳んだ高さが記録しやすくなるよう、棒に目盛を振った。また、目盛は2 cm ごとにした。 ・ 洗濯ばさみにゴムひもを付けることで、高さを変えやすくなった。 ・ ゴムひもに鈴を付けたため、生徒が跳べた・跳べなかったの判断がしやすい。 <p><材料></p> <p>① カラーコーン (2)、筒状の棒 (2)、500ml ペットボトル (4)、洗濯ばさみ (2)、ゴム、鈴 (2)</p> <p>② ①のカラーコーンを除いたもの</p> <p>2 その他</p> <p>まず始めに、①を作製したが、カラーコーンの上の部分 (50cm) の高さからしかゴムの高さを設定できなかった。体育の生徒 (のびのびグループ) の実態的に、50cm の高さを跳ぶことが難しい生徒がいたため、②のゴム跳びを作製した。②は500ml のペットボトルに水を入れたものを4つ付け、それを土台とすることで、安定して立つようになり、また、20cm の高さからゴムの高さを設定できるようになった。</p>			
参考文献・Web	http://ds0.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yamasyo/09taiiku/M.fujiiHP/takatobi/takatobi%20top.html		

教材・ 教具名	トロフィー	教科・領域等	生活単元学習
情報提 供者	中学部 1年		
教材・教具写真 (規格:縦 10cm×横 15cm×高さ 20cm)			
			
 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>中学部一年生の校内宿泊のカラオケ大会で使用した。学年・クラス内でのイベントなどで使うと生徒が喜んだ。活動の終わりに渡すと生徒は達成感を感じ、自分達が一生懸命取り組んだと感ずることができるように思う。</p> <p>2 その他</p> <p>(材料)</p> <p>炭酸飲料水のペットボトル (2L) ラミネートフィルム 接着剤</p> <p>塗装スプレー (金・銀・銅など) リボン</p> <p>トロフィーの名札 <u>必要額: 約¥300</u></p> <p>(作り方)</p> <p>1 清涼飲料水のペットボトルを切り、写真のように取り付ける。接着剤が乾くまでセロハンテープで固定した。</p> <p>2 ラミネートフィルムを切り、トロフィーの取っ手として貼り付ける。</p> <p>3 スプレーで全体を塗装する。</p> <p>4・5 リボンやトロフィーの名札を付ける。</p>			
参考文献・ Web	http://stat.ameba.jp/user_images/20120711/18/nailist-tatsumi/a5/8f/j/o0480064312073929421.jpg		

教材・教具名	ゴムで作ろう	教科・領域等	数 学
情報提供者	中学部 1年		
教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 板に9本のねじ釘を半分まで入れ、4色のカラーゴムで教師の見本や写真カードを見ながら様々な形を模倣して作る。 ○ 最初は、色を少なくし簡単な線から取り組んだり、両手の指先の使い方の手本を見ながら、ゴムの掛け方の練習をしたりする。 ○ 生徒の実態によって色や形を増やしたり、複雑な構成にしたり、形の名前や長短を学習したりする。 ○ 写真カードを準備し、一人で取り組めるようにする。 <p>2 その他 (今後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実態に応じて、9本のねじ釘の数を増やしてレベルを高める。 ○ ねじ釘部分を・にしたプリント学習にも応用する。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	トマトを育てよう	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	中学部 1年		
教材・教具写真 (規格:縦 50 cm×横 50 cm×高さ 200 cm)			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プランターでミニトマトの栽培を行った。 ○ 水やりがしやすいようにペットボトルのキャップに穴を何カ所かあけて水やりをした。 ○ 事後学習として、ミニトマトが育つ様子をダンボールや紙などで作成し、苗を植える、水をやる、茎が伸びる、実を付けるなどの育てる活動とミニトマトの成長を再度確認しながら振り返りを行った。 <p>2 その他 (今後)</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	数を数えよう	教科・領域等	数学
情報提供者	中学部 1年		
教材・教具写真	(規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)		
<p>みんなで かぞえて みよう</p> <p>    </p> <p>    </p> <p>★ 数がふえていく</p> <p>   </p> <p>   </p> <p>★10まで数えたらランダムに映像を出す。</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○ 大型テレビに1から順にいちごのイラストを出していく。(パワーポイント使用)</p> <p>○ イラストが出た後、「いちごが1」と答えさせる。答えた後、数字を出す。</p> <p>○ 1から順に数を増やしていき、10まで数えていく。</p> <p>○ 10まで数えたら、ランダムに映像を出して答えさせる。</p> <p>○ 画面のイラストを見て、瞬時に数を答える学習に効果的であった。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	コップかさね	教科・領域等	自立活動・数学
--------	--------	--------	---------

情報提供者	中学部 1年
-------	--------

教材・教具写真





1 教材・教具の説明

- 重複障害の生徒を対象に「積み上げる」、「重ねて収める」という学習で使用した。大きさ・色が違うため、慣れてくるとある程度順番を覚えスムーズにできるようになった。
- 平仮名や数字が読める生徒が、プリント学習等をする際にも、利用した。課題を一つクリアするごとに、コップを一段ずつ積み上げる。全てすべて積み上げたら、課題も終了ということで、見通しをもちながら、課題ごとにちょっとした楽しみを感じながら、積極的に学習に取り組むことができた。

2 その他

教材・教具名	数の分解	教科・領域等	数学
情報提供者	中学部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
<p>・パワーポイント教材</p> <div data-bbox="253 533 769 940" data-label="Image"> </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象生徒：</p> <p>① 5までの数の分解が課題。</p> <p>2) 使用目的：</p> <p>① 5までの数の分解を理解した（しかけている）生徒に、繰り返し課題を行うことで定着を図る。</p> <p>3) 使用方法：</p> <p>① パワーポイントを使用して行う。</p> <p>② 答えを間違えた場合は、パワーポイントを操作して、○を動かして理解を促す。</p> <p>2 その他</p> <p>① 具体物を操作して理解を促す活動を繰り返し行った後で行う。</p> <p>② テンポ良く行えるので、生徒の集中力を持続させやすい。</p> <p>③ 理解度に合わせて、10までの分解 Ver. も使用する。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	生卵割り練習キット	教科・領域等	作業学習 (クッキング)
情報提供者	中学部 2年		
教材・教具写真 (規格: 縦 <input type="text"/> cm × 横 <input type="text"/> cm × 高さ <input type="text"/> cm)			
 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象生徒：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 手先の動きに不自由さがある。 ② 調理経験が少ない。 <p>2) 使用目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生卵を両手を使って割る練習に使用する。 <p>3) 使用方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卵の模型のシールが貼ってある部分をコツコツと軽くたたく。 ② 割れ目がある方の卵の模型を、割れ目の部分に親指を当てて開く。 ③ 卵の中から中身を皿に出す。 <p>2 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 模型にシールを貼ることで、ひびを入れるためにたたく位置や殻を開くために親指を差し込む位置を示すようにした。 ② 紙粘土素材を用いることにより、繰り返し使用できるようにした。 ③ 卵の中身にスライムを用いることにより、視覚的に理解しやすく、イメージができると考えた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	大小と数で分けよう	教科・領域等	数学
情報提供者	中学部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大・小それぞれのクリップの写真と、入れさせたい個数の数字をチャック袋に貼り、提示してある個数分を袋に入れる学習。 ○ 最初は、クリップの大きさを確認し、大小の認識を確認。それから、数を数えながら袋に入れる等手本見せる。 ○ 生徒の実態によって色や形、数を増やして取り組む。 ○ 色で分別できる生徒に、他の分け方で何かよい教材はないかと考え作成した。 <p>2 その他 (今後)</p>			
参考文献・Web	なし		

教材・教具名	紙粘土の作品見本	教科・領域等	美術
情報提供者	中学部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>美術の「粘土で作ろう」の単元において、食べ物の写真を見本にしながら作品づくりを行った。作品づくりに対して、「紙粘土で本物そっくりに見える食べ物を作るんだ。」という具体的なイメージがもてるように、見本として授業の導入に提示した。</p> <p>2 その他</p> <p>「これはケーキ。」「これはたこ焼き。」と指を差して確認することができ、生徒は見本に興味を示した。その結果、意欲的に作品づくりに取り組み、自分の作品を見本の写真とマッチングを行うことができた。さらに、友達作品も鑑賞して、友達が何を作ったのか答えることができた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	洗濯ばさみでマッチング	教科・領域等	国語
情報提供者	中学部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○ ねらいとして</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみについての平仮名や片仮名を並べて言葉〈単語〉を作っていくことで、平仮名〈片仮名〉表記と読みをつなげていく。 シールで文字の数を示すことで、洗濯ばさみを使って、言葉を音に分解したり、音を言葉に合成したりしていく作業を体感させていく。 <p>○ 提示の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 1文字につき、複数の洗濯ばさみを用意する。 探しやすいように、あ〈ア〉行、か〈カ〉行といった行ごとに洗濯ばさみを分けておく。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 50音の個数が多いので、生徒は音を探すのに苦労していた。提示方法の工夫、整理が必要。 表裏に平仮名、片仮名を付けると、認知の高い生徒は、単語によって使い分けていた。 重複の生徒は、国語だけでなく、自立活動〈手指の操作〉の学習にもなった。 今後、促音・拗音等も作成し、使用していく。 			
参考文献・Web	特別支援教育「はじめのいっぽ」国語のじかん に掲載された物を作成		

教材・教具名	リングさし	教科・領域等	自立活動
情報提供者	中学部 3年		
<p>教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)</p> 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 目と手の協応を図る。 注視して手指を操作する力を養うために、穴に合った木の棒（コップ立て）に一対一対応で差し入れる。手元を見ないとできないので、棒や穴を見るようになり、次の紐通しやビーズ通しへの課題につなげることができた。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

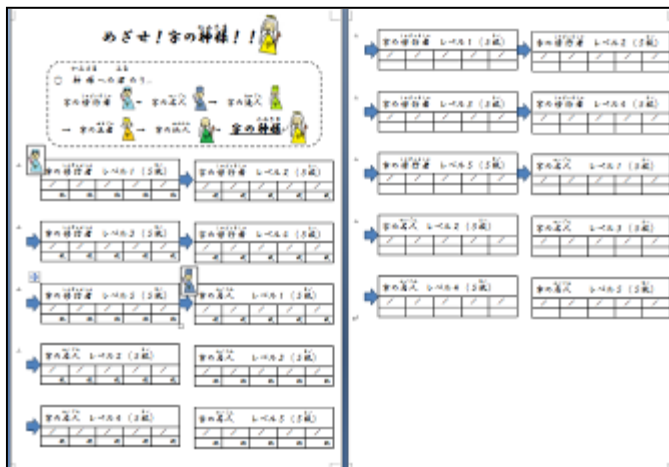
教材・教具名	字の達人になろう	教科・領域等	国語
情報提供者	中学部 3年		

教材・教具写真 (規格：マニュアルA5、チェック表A4)

【三角鉛筆と字の達人マニュアル】



【レベルチェック表 (下図はA4×2枚)】



1 教材・教具の説明

* 対象生徒の実態

<筆記について>

筆記用具の握りが弱く、指先だけで字を書く。そのため、筆圧が低く、字形も整いにくくなっている。

<意欲について>

「レベルアップ」していくことが意欲につながりやすい。限られた時間や課題、短いスパンだと集中して、丁寧に字を書くことができる。

* 教材について


「字の達人」になるために、マニュアル通りに意識して握り、ゆっくりと丁寧に字を書いて一定の枚数をこなすと、「字の修行者」→「字の名人」などレベルが上がっていく仕組み。簡単な視写プリントを用意し、少ない課題量（1日1枚など）で取り組みやすくする。レベルが上がるにつれて、「視写プリント」から「連絡帳を丁寧に書くこと」をクリアポイントとするなどして、限定的な課題から般化させていきたい。

2 その他

成果：小さな目標（○枚やってレベルアップしよう！）があり、限られた課題（視写プリント）だと、集中して書くことができ、筆圧も強まり、字形も整ってきた。

参考文献・Web

特になし

教材・教具名	楽譜	教科・領域等	音楽・自立活動
情報提供者	中学部 3年		
教材・教具写真 (規格:縦 50 cm×横 120 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>この教具は、音楽・自立活動の際に使用した。音符には、それぞれ赤や青・黄等の色が付けられており、音符を瞬時に判別することが難しい生徒にとっても演奏しやすい楽譜となっている。トーンチャイムにも楽譜と同じように色付の音符シールが貼られており、生徒は楽譜とトーンチャイムを対応させながら演奏に取り組んだ。赤いシールが貼られている音符は、2点ド以上の高さを示している。</p> <p>2 その他</p> <p>楽譜を教師が指示棒で一つずつ音符を指し示しながら演奏を進め、最後の和音は、クラスの五人全員でタイミングを合わせて音を出した。共同して活動に取り組む経験が少なかった生徒にとって、自分の担当の音に対して責任をもち、力を合わせて演奏を進めるこの活動は、責任感や自己有用感を高めるために非常に有効だった。</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説】

(様式1)

教材・教具名	おはじき数えボックス	教科・領域等	算数・自立活動
情報提供者	中学部 3年		
教材・教具写真 (規格:縦 6cm×横 9cm×高さ 4cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>ふたつきのタッパー容器に2cm×0.8cmくらいのおはじきが入るような穴をあけ、数字シールを貼ったおはじきを数えながら入れる作業を行った。指先を使う訓練と数を数える練習にと思い、作った。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

【教材・教具解説】

(様式1)

教材・教具名	『修学旅行に行こう』	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	中学部 3年		

教材・教具写真 (掲示物・・・模造紙3枚、プリント・・・A4・・・3枚程度)

① 掲示物



②行程表・チェックリスト





『金比羅さん に行こう！』
 どのくらいおもしろいのか、クラスで、どこまでおもしろいのか？
 コスプレしたとこに、シールを貼ろう。

5月28日	おさんぽ		
	ここからスタート		
	新着水族館、かぞえてみよう		
	観光に参る		
	大門(バス乗り)		
	ごんりく館(バス)		
	温泉地		
	にしん(海鮮市場)		
	温泉地(おんせん)		
5月30日	ホテルへ戻る		

1 教材・教具の説明

- 修学旅行の事前取組から事後学習にかけて作成した掲示物である。事前学習では、中四国の地図を作り、3日間の行程・県名などを書き込んだ。合わせて、パワーポイントで3日間の行程を説明しながら、日程表も作製した。行程がなかなか記憶できない生徒が多かったが、何度も繰り返して学習するうちに、次はどんな活動を行うのか、どんな乗り物で行くのか、覚えて発表することができるようになった。それぞれの活動場面での詳しい行程について、パワーポイントで説明を行った。
- 修学旅行当日は、ミニサイズのしおりを持参したが、事前学習により、次はどんな活動をするのか、理解して行動できていたと思う。また、水族館・遊園地・金毘羅山・うどん学校については、パワーポイントで学習した内容について、当日見たり乗ったりしたものにシールを貼ることで、実体験として確認することができた。
- 事後学習では、日程表を振り返りながら、実際の活動場面の写真をイラストの上に貼った。写真を貼りながら、楽しかったことや面白いエピソードを振り返ることもできた。活動場面ごとに写真を貼り、地図を完成させた。
- 事後学習の日は参観日で、日程表や行程表を見ながら、それぞれが一番楽しかったことやがんばったことを保護者の前で発表した。掲示物の一枚一枚が、楽しい修学旅行三日間の貴重な思い出となった。

教材・教具名	型はめ	教科・領域等	国語・数学
情報提供者	中学部 3年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象生徒：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 手先の動きに不自由さがある。 ② 注視が苦手である。 ③ 基本図形の認識が不確かである。 <p>2) 使用目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① △・○の違いの理解を促すこと。 <p>3) 使用方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師が、1枚ずつ△・○の型を生徒に手渡し、手渡された型を生徒が台紙にはめ込む。 <p>4) 工夫：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 段ボール素材を用いることにより、触覚でも形をとらえることができるようにした。 ② 段ボール素材を用いることにより、押しこむ作業が、注視と作業完了の理解を促すと考えた。 ③ 段ボール素材を用いることにより、指先の調整能力をつけることができると考えた。 ④ 段ボール素材を用いたので、教材作成に関わる費用が安価で、作成も容易であった。 ⑤ 国語で読んだ題材のイメージがわくように、絵本に合わせて、木に葉や実が付いている様子を表した型はめ教材とした。 			
参考文献・Web	クリスティ・マシソン作，大友剛訳（2014）さわってごらん！ ふしぎな ふしぎな まほうの木．ひさかたチャイルド		

教材・教具名	せの〜び洗濯バサミ	教科・領域等	自立活動
情報提供者	中学部 3年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象生徒：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 注視、目と手の協調運動の困難さがある。 ② 体幹の筋力の弱さがある。 ③ 因果関係の理解に困難さがある。 <p>2) 使用目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 注視を促す。 ② 目と手の協調運動機能の強化をする。 ③ 体幹の筋力の強化をする。 ④ 子どもの興味・関心を利用し、因果関係の理解に結び付ける。 <p>3) 使用方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 洗濯バサミのヒモの部分引っ張ってとる。 ② 洗濯バサミの先にぶら下がったぬいぐるみを引っ張ってとる。 <p>4) 工夫：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 洗濯バサミの色を目立つ色にした。(緑、黄色、オレンジの効果が良かった。) ② 洗濯バサミに鈴やぬいぐるみなど、子どもが興味のあるものを取り付けた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	ボールの滝	教科・領域等	自立活動・保健体育
情報提供者	中学部 3年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>重度・重複の生徒が興味を持って主体的に取り組むことのできる教材として作製した。小さな動きで大きな効果（色、音、風）を視覚・聴覚・触覚を使い感じることができる。ひもを引くことで箱の中のボールが流れ出る。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	ピッタリの気持ち	教科・領域等	国語
--------	----------	--------	----

情報提供者	高等部 1年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦A4サイズ)

【ピッタリの気持ち】		【ピッタリの気持ち2】	
<p>①よろこび</p> <p>嬉しい 楽しい 幸せ 満足 おもしろい。</p> <p>明るい 元気をもらう。</p> <p>ハッピーな ウキウキする ワクワクする。</p> <p>ドキドキする ルンルンする。</p> <p>②気持ちが高ぶる</p> <p>興奮する 感心する 感動する。</p> <p>手に汗を握る 息を呑む エキサイティング。</p> <p>③幸せ</p> <p>うれしい</p> <p>大喜び 夢のようだ きもちいい。</p> <p>いい笑顔 最高だ 信じられない 忘れられない。</p> <p>こみ上げる 天にも昇る気持ち こ(上)機嫌 ナイス 幸せ 幸福。</p> <p>④満足 感動</p> <p>素晴らしい みごと 最高だ 最高の時間。</p> <p>ジーンとくる 胸がいっぱい (大)満足</p> <p>感動する 感心 感無量 気分上々。</p> <p>おどろき</p> <p>わぁ 美しい あら ふしぎ ああ うれしい</p> <p>まあ すてき おお みごと。</p> <p>⑤安心</p> <p>すっきりする ホットする 落ち着く 胸がスーっとする 暗れ暗れする やれやれする。</p>		<p>① 怒り</p> <p>怒り うんざり イライラ いらだち</p> <p>不愉快 不機嫌 我慢できない 怒鳴る。</p> <p>しっと 失望 納得いかない 文句を言う</p> <p>腹立ち ねたみ ずるい 叱る 情けない。</p> <p>気に食わない 気に入らない。</p> <p>② 気分が晴れない</p> <p>がっかり ゆうつ 苦しい だれる 薄胆</p> <p>疲れる 気が乗らない 気がめいる 絶望</p> <p>残念</p> <p>③ 恐れ 恐怖</p> <p>不安 モヤモヤ 困った 青ざめる 戸惑い</p> <p>不安</p> <p>つらい あせり 震える 心配 恐ろしい</p> <p>魚肌が立つ 不気味 恥ずかしい。</p> <p>④ 心が傷つく</p> <p>つらい 苦しい 切ない むなしい 悲しい</p> <p>後悔 情けない。</p>	

1 教材・教具の説明

生徒の実態として、感情を表すことばが単調で「おもしろかった」「楽しかった」で全て済ませてしまう傾向があり、気持ちの表現を増やしたいと思った。そこで、1学期は、感情を表す言葉や語彙を増やし、自分の気持ちを正しい文章で表現することができることを目標に、感情を表す言葉を一覧表にし、自分の気持ちを当てはめさせた。

【パート1】では「よろこび、感情が高ぶる、幸せ、嬉しい 満足、感動、驚きの感情例。」

【パート2】では「怒り、気分が晴れない、恐れ、恐怖、不安、心が傷つくなど負の感情例」

【パート3】は、将来的にも社会で大切な、要望 「我慢せず気持ちを伝える拒否の言い方」「身体の不調を伝える言い方」へと発展。

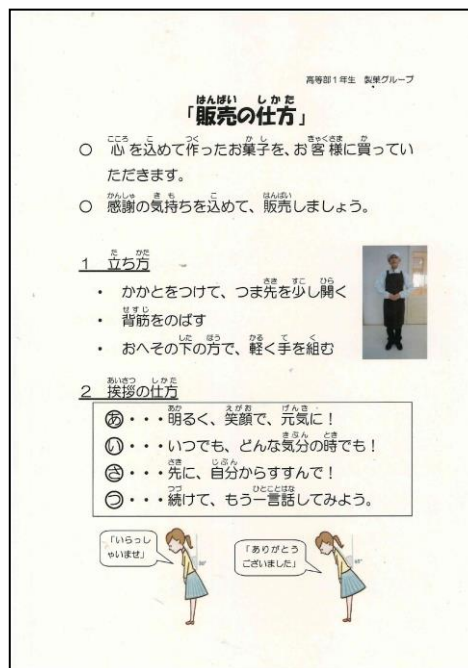
毎日の日記では、ピッタリの気持ちを必ず使って作文に挑戦。使えた部分に教師が赤く線を引き、その都度評価。朝や帰りの会で皆の前で発表するうちに、次第に使い方にも慣れ、表の中から、複数組み合わせる生徒(例、「満足」に「すごく」を組み合わせ「昨日家でゲームをしました。すごく満足しました。」)や一覧表以外からふさわしい言葉を使う生徒もでてきた。ある生徒は「天にも昇るような気持ち」の表現がお気に入り、いろいろな場面で使うようになった。使い方としては多少ニュアンスが違っても見受けられたが、言葉を豊かに表現することを優先に様子をみながら指導している。ふさわしい気持ちを選んだり、日記で文章の書き方を毎日練習し発表をしたりするなど、継続的な学習をすすめた結果、感情を表す言葉が増え、読む人に状況や気持ちが伝わる文章が書けるなど成長がみられた。

2 その他

参考文献・Web	
----------	--

教材・教具名	製菓（トライアル）マニュアル	教科・領域等	作業学習（製菓・トライアル）
情報提供者	高等部 1年		

教材・教具写真（規格：A4サイズ）



1 教材・教具の説明

高等部第1学年Ⅲ類型では、「製菓」「環境美化」「木工・クラフト」の作業を1年間ですべて体験し、仕事の適正について自分たちで考えていくという取り組みを行っている。

その中の「製菓」では、マドレーヌ作りを通して「衛生に気を付ける仕事」「道具を扱う仕事」「接客の仕事」「食品を扱う仕事」について基本的な内容を学ぶ。

マドレーヌを作るだけでなく、学習ノートを使っての演習を通して、実践に生かせるようにしている。

マドレーヌを作るときの正確さ、道具の扱い方、販売するときの接客の仕方など、学習ノートを使って演習した後、実践してみると、生徒たちの明るい笑顔での接客や、計量の正確さ、手順どおりに作ろうとする姿などに、成長が見られた。

2 その他

教材・教具名	めざせ！日本一周！！ Run♪Run♪グルメマラソン♪	教科・領域等	日常生活の指導（体力づくり）
情報提供者	高等部 1年		

教材・教具写真（規格：縦29.7cm×横42cm×高さ0cm）※A3サイズ



日本地図



ご当地グルメシール

1 教材・教具の説明

「めざせ！日本一周！！RunRun グルメマラソン♪」

日常生活の指導における、体力づくりに利用。毎朝の校庭でのランニングにおいて、各自が目標周回数を定め、それを達成できたら①～④⑦の順に一枚ずつシール（ご当地グルメシール）を獲得できる。さらに、各都道府県（①～④⑦）の周りの空白に、四角の空欄を用意し、達成した各都道府県の名称を記入していく。走る前に、「目標周回数」を設定させるため、目標周回数表を作成し、セットで使用する。

生徒の体力づくりのための“走る意欲”、日本地図（地理）や都道府県の名称・特産物に自ら興味・関心を持って知ろうとする“社会を学ぶ意欲”を高めることができる。（?）

2学期から使用することを、生徒にも伝えているが、とても楽しみにしており、すぐに使おうという声が多数出た。また、日本一周を果たしたら、次は東アジア・東南アジア・ヨーロッパ・新大陸など、世界バージョンに移行することも可能である（世界一周）。

2 その他（制作にあたって）

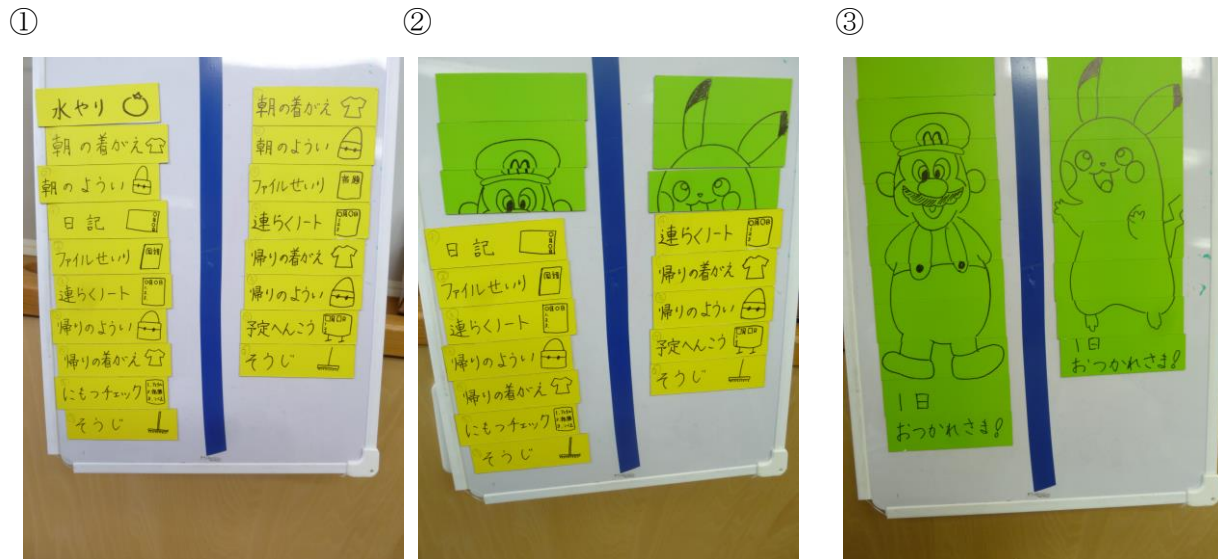
- ・シール作りが完全手作業のため、クラス全員分となると手間と時間がかかる。市販のシールなどあれば、利用すると便利。（カラーコピー⇒切り抜き（各県の特産物）⇒両面シール貼り）
- ・日本地図はA3にカラー印刷して、厚紙に貼って補強（カードみたいに）して使うと傷みにくい。
- ・グルメシールが時々都道府県の幅より大きく、はみだすことがある。うまく工夫して貼ること。

参考文献・Web

教材・教具名	周回数カウントボード	教科・領域等	保健体育（体力作り）
情報提供者	高等部 1年		
教材・教具写真	（規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm ）		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>左端の列は生徒の名前が入る。全部のカード（マグネット）を黄色の状態にして、担任がボードを持ってスタートに立つ。</p> <p>1学期の目標である5周を目標に、生徒は約10分間トラックを走る。</p> <p>1周終わるごとに、カードを裏返して数字を出し、自分が何周走ったかを確認。</p> <p>ランニング終了後、全員にボードを提示する。</p> <p>全員が5まで裏返すことができるよう、クラス全員で励まし合って取り組んでいる。</p> <p>カードを裏返すことに慣れてきたとはいえ、一旦止まって行うため、スピードダウンは避けられない。スピードを緩めずに自分で操作して周回数がわかる道具を勘案中である。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	やることリスト	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 1年		

教材・教具写真 (規格：縦 29 cm×横 21 cm×高さ cm) A4サイズ



1 教材・教具の説明


自分でできるのに、ついつい忘れてしまう・・・いつも言葉掛けがいる、という生徒に。
 できたらひっくり返す。
 裏は、子どもの好きなキャラクターなので、楽しんで取り組むことができます。
 二人並べることで、競争しながらできる。

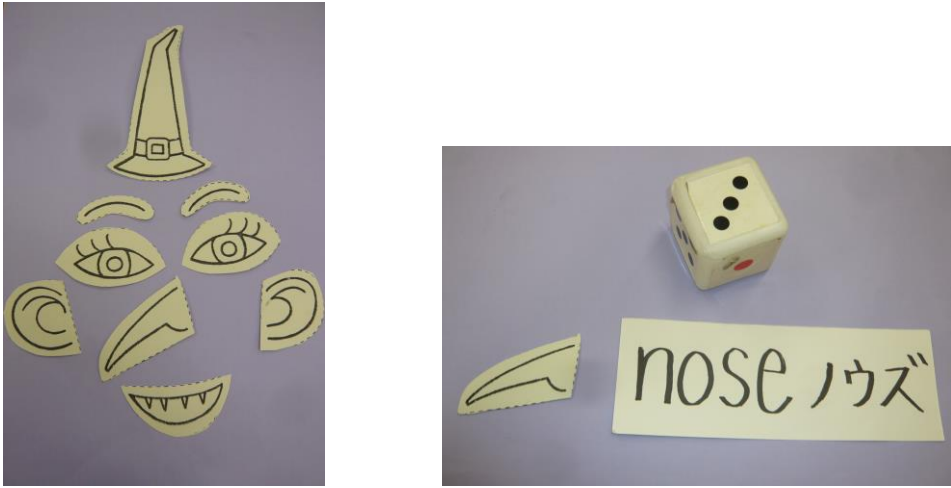
素材

1000円ショップの両面マグネット

2 その他

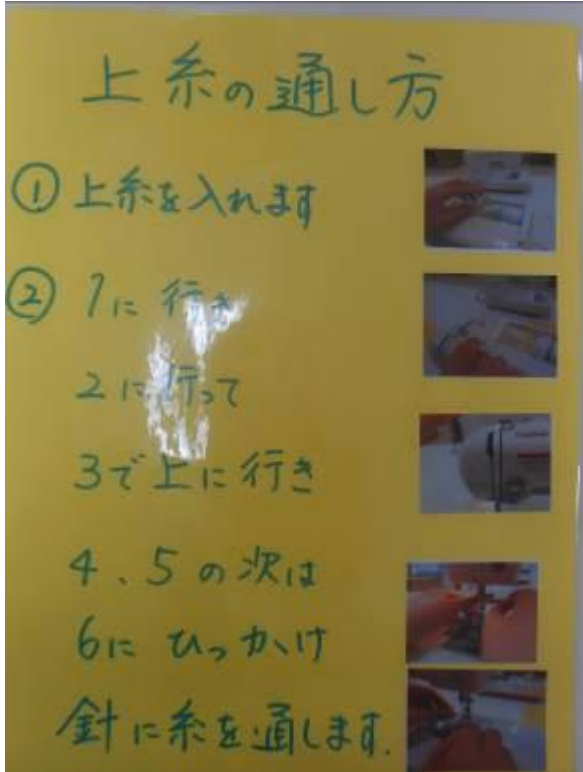
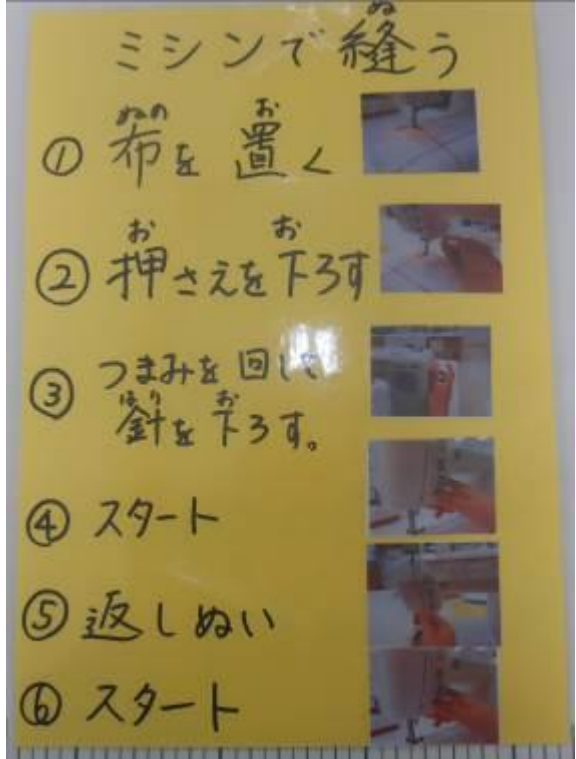
参考文献・Web


教材・教具名	「正しいラジオ体操」 ～ラジオ体操のポイント～	教科・領域等	保健体育
情報提供者	高等部 1年		
<p>教材・教具写真 (規格：縦31cm×横24cm×高さ2cm)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="150 495 679 891"> <p>効果<small>こうか</small>がだんぜん<small>だんぜん</small>アップ! 3つの注意<small>ちゅうい</small>点</p> <p>ポイント<small>か</small>を<small>か</small>く<small>にん</small>確認<small>かくにん</small>する。</p> <p>「どの筋肉<small>きんにく</small>を使<small>つか</small>っているか」 を考<small>かんが</small>える。</p> <p>テキパキ<small>けんき</small>と 元<small>げん</small>気<small>き</small>よく。</p> </div> <div data-bbox="767 495 1297 891"> <p>② うで<small>うで</small>をふ<small>ふ</small>って足<small>あし</small>をま<small>ま</small>げ<small>げ</small>の<small>の</small>ば<small>ば</small>す<small>す</small>運<small>うん</small>動<small>どう</small></p> <p>ぜんしん<small>ぜんしん</small> ち<small>ち</small> な<small>な</small>が 全身<small>ぜんしん</small>の血<small>ち</small>の流<small>なが</small>れ<small>なが</small>をよ<small>よ</small>く<small>く</small>する。</p> <p>○かか<small>か</small>と<small>と</small>を<small>あ</small>げ<small>げ</small>る。</p>  <p>あ<small>あ</small>げ<small>げ</small>る あ<small>あ</small>げ<small>げ</small>た<small>た</small>ま<small>ま</small> あ<small>あ</small>げ<small>げ</small>る</p> </div> </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○ ラジオ体操を覚えて一通り行うことができるが、一つ一つの動きのポイントがあいまいな生徒の実態があり、正しいラジオ体操に毎朝継続する取組の導入時に提示した。また、動きのポイントは、毎日一つずつモニターで確認していった。パワーポイントでの説明に加えDVDや動画で動きを確認し、朝の体力づくりの時間に、ポイントを意識しながら体操することを毎日継続した。</p> <p>2 その他</p> <p>○ 2～3週間ごとに「セルフチェック」として生徒にアンケート調査を行った。取り組み始めの9月と11月の集計結果の比較を提示し、正しいラジオ体操を行ったり、毎朝継続して体を動かしたりすることで、どんな変化や効果があったか振り返りの学習を行った。</p>			
参考文献・Web	かんぼ生命Webページ 「ラジオ体操 ラジオ体操の動きの解説」 「大人のラジオ体操」 講談社		

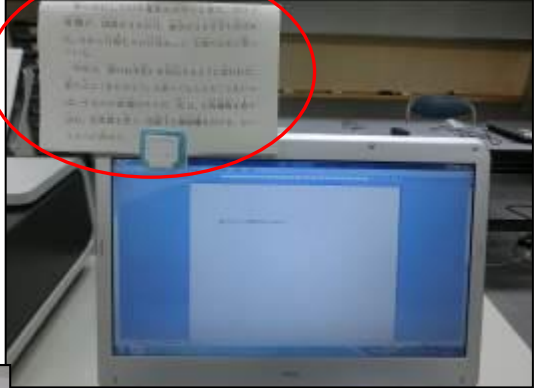
教材・教具名	魔女の顔ゲーム (ハロウィーンパーティ)	教科・領域等	生活単元学習 (英語活動)
情報提供者	高等部 1年		
教材・教具写真 (規格: 37cm×51cm) ※ 四つ切 画用紙サイズ			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 顔のパーツを見せて、” What’ s this ? (これ何?) “と教師が発問する。 ② “ It’ s a nose. (鼻です) “などと教師が答えながらホワイトボードに顔のパーツを貼り、文字カードを見せながら教師が” Repeat after me. (繰り返し) “と生徒に顔のパーツの英単語を繰り返させる。 ③ 生徒を二つのグループに分けて順番にじゃんけんをさせ、勝ったチームの者がサイコロを振り、出た目のパーツをホワイトボードに貼っていく。その際に、” What’ s this? “と教師がパーツを貼った生徒に聞き、” nose “などと答えさせ、他の生徒全員にも確認しながら繰り返させる。 ④ ③を繰り返し行い、パーツを全部貼り「魔女の顔」を完成させることができたグループがゲームの勝者となる。(③のゲーム中、サイコロを振って出た目のパーツの英単語を繰り返すことで、顔のパーツの英単語を知る もしくは 覚える機会をもてることになる。) <p>2 その他 (制作にあたって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1の説明は、Ⅲ類型向けの方法であるが、Ⅰ・Ⅱ類ではグループに分けずに順番にサイコロを振らせて「福笑い」のように魔女の顔を作っていく簡単な方法もある。 ・ 英語で行わずに、日本語の言葉の学習として行うこともできる。 ・ 前に行うのが難しい場合は、手元のホワイトボードを使ってパーツを貼りながら言葉を確認していく方法もある。 ・ 顔のパーツのバリエーションとして、“Touch your nose. (鼻を触って) ”などと教師が生徒に指示して、顔のパーツに自分の指で触らせる活動もあるので、魔女の顔ゲームを行う際に、一緒に行うとより定着すると思う。 			
参考文献・Web	子ども英語 10月号 (アルク)		


教材・教具名	ベンチ椅子・机	教科・領域等	全教科
情報提供者	高等部 1年		
教材・教具写真 (規格:縦 70cm×横 90cm×高さ 62cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>介助机について・・・絵の具や色のつくものを教材として使用する場合には机の形のビニールを掛けて使用する。鏡をつけ、常に児童生徒の姿勢や表情を確認できるようにする。机が広いので上肢を大きく動かしての活動が可能になる。机の上にクッションを敷いているので手に体重がかかっても痛くないようになっている。</p> <p>ベンチ椅子について・・・教員の後方介助で姿勢保持をして座る。教員が児童生徒の姿勢が崩れないように配慮しなくてはならないが姿勢が保持できると上肢の可動域が広がり、操作性が高まる。また、可動域が広がることによって自発的な動きにつなげることができる。体育などの準備体操でも取り入れている。</p> <p>介助者が正しい姿勢を保つことで児童生徒自身の体幹を保持する力を育成することもできる。</p> <p>若干前傾姿勢にすることで唾液の流れ込みを防ぐ。胸郭を広げ、空気を取り入れることができるので咳を促し、自力排痰を促すこともできる。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

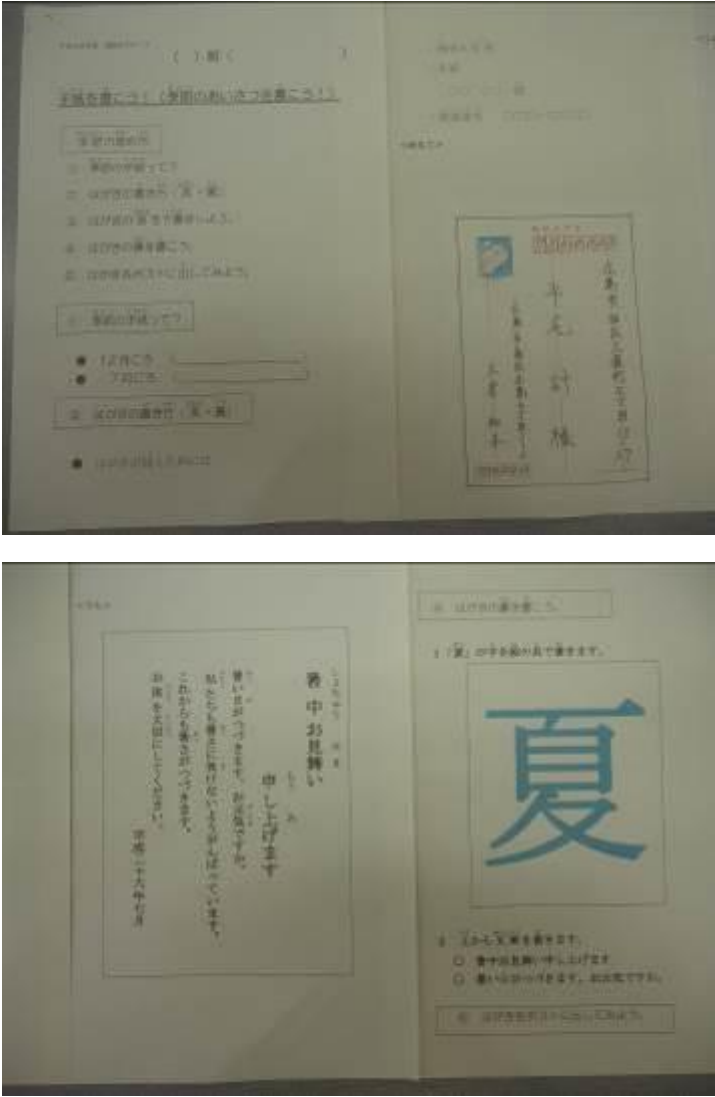
教材・教具名	エプロンを作ろう！	教科・領域等	家政
情報提供者	高等部 1年		
教材・教具写真	(規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm) ・パワーポイントのページの一部		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>準備する物1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>首ひもを作る</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>			
・プリント3枚 (A3 2枚、A4 1枚)			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>教材はパワーポイントと資料プリント。流通物流検定や接客検定の時に着用するエプロンを自分で制作するという家政科の単元で、手順をわかりやすく示すために作製した教材。</p> <p>2 その他</p> <p>生徒によっては、パワーポイントの視覚支援とプリントの説明のみで、一人で制作を進めていくことができた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ミシンの糸かけのしかた	教科・領域等	作業学習 I
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格: 縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>作業学習 I のクラフトでは、布を使ってコースターを縫っています。ミシンの糸かけが、難しい生徒や、縫う作業に慣れていない生徒もいて、分かりやすく説明するための視覚支援を考えた。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

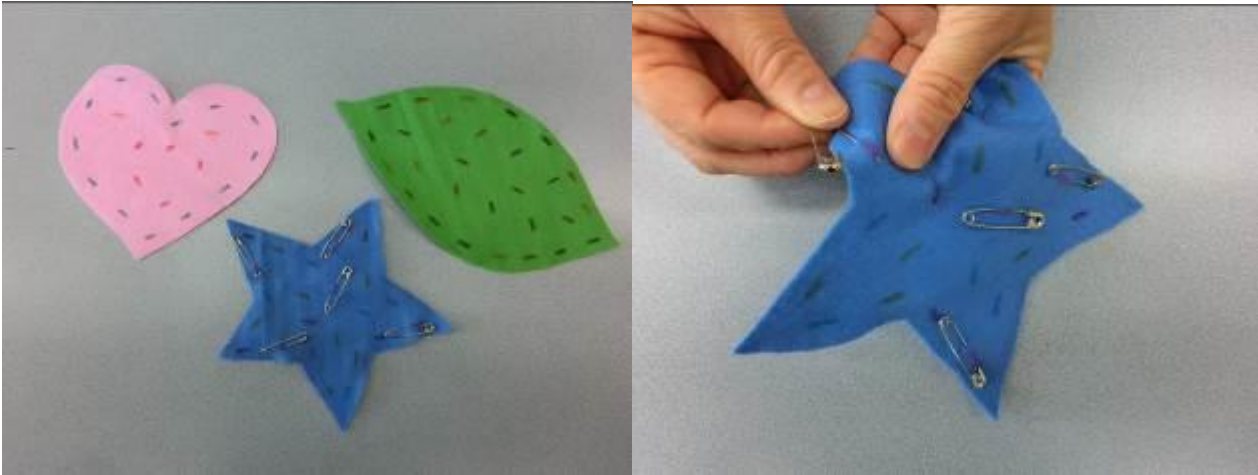
教材・教具名	調理実習事前学習教材	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm) A4用紙5枚			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>高等部2年生Ⅲ類型では、調理実習でパスタランチと称し、自分で家でも作ることができるようになることを目標にスパゲティとサラダを作った。3回の事前学習を設け、繰り返し作り方を確認しました。パワーポイントで写真をたくさん使用し、細かい行程や調理に必要な基礎を学習した。</p> <p>2 その他</p> <p>調理実習当日は作り方を覚え作ることができた生徒や、プリントを見ながら手順を確認し作る生徒など様々であったが、教員の支援は少なく自分たちで作ることができた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	選んで入力	教科・領域等	作業学習「ワープロ」
情報提供者	高等部 2年		
<p>教材・教具写真 (規格：縦 $\text{cm} \times$ 横 $\text{cm} \times$ 高さ cm)</p> <p>原稿をクリップ等でとめる→</p>  <p>12ポイント 14ポイント 20ポイント ルビ付き</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>文字入力の原稿である。文章も文字数も同じで生徒個々に応じて、文字を大きくしたものや、ルビをふったものを用意する。自分でどのパターンを選ぶか自由である。</p> <p>選んだ文字列で原稿を折り曲げて、画面の左上にマグネットかクリップでとめる。</p> <p>2 その他</p> <p>生徒はまだ、初心者であり多くの文字は打てない。</p> <p>少しでも画面から視線がそれる時間を減らしたいと思った。</p> <p>生徒が自分でパターンを選ぶことができ、自分なりの達成感を得ることができた。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	切り絵、塗り絵		教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 2年			
	<p>教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)</p> 			
	<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自力通学で朝早く学校に来る時間を利用して、手先を使った活動を取り入れた。 ○ 季節に合わせた切り絵のデザインを自分で選び、教師に相談しながら取り組んでいる。 ○ カッターを繰り返して使うことで、少しずつ上手に使えるようになっている。 ○ 切り絵だけではなく、複雑なデザインの塗り絵にも取り組み作品のバリエーションを増やしていきたいと考えている。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示することでたくさんの人に評価をしてもらい、本人の自信につながっているように感じる。また自信が付いてくることで、様々な活動で積極的に取り組めるようになってきていると思う。 			
参考文献・Web				

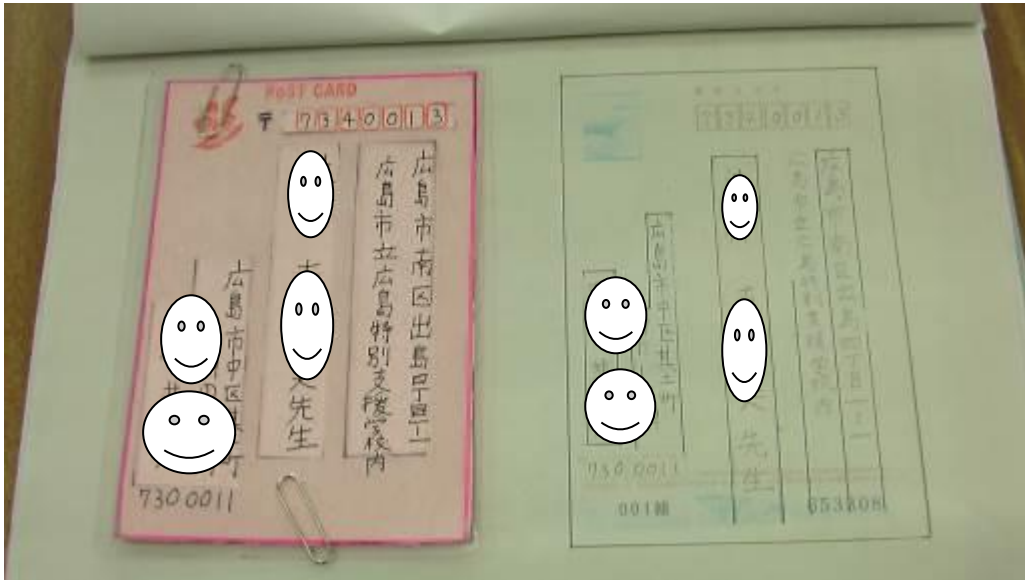
教材・教具名	ワークシート	教科・領域等	国語
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等部2年生Ⅱ類型Bグループの国語の学習で使用したワークシートである。 ○ 単元名は「暑中見舞いを書こう」である。 ○ 日頃、手紙を書く機会がほとんどない生徒に季節の挨拶として「暑中見舞い」と「年賀状」があることを知らせ、基本的な手紙の書き方を指導するワークシートとして制作した。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートには単元の学習の流れも示し、学習の見通しを持たせる様になっている。 ○ あて先は保護者に相談し、難しい漢字も視写できるよう手本を作成した。 			
参考文献・Web			

【教材・教具解説】

教材・教具名	きらりんフェルト	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の指導の時間に、個々の課題に応じて指先を使う作業を行っている。この教具は、その中のひとつで、安全ピンを刺す、はずすの作業を時間内に行うものである。 ○ 線に沿って安全ピンを正確に刺すだけでなく、指示された線の色に刺すこともでき、生徒の実態によって課題を変えることができる ○ フェルトの形を星やハート、葉っぱにしたことで、楽しみながら活動することができた。 <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指先の巧緻性を高める。 ○ 指示を聞いて作業をすることができる。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	はがきの宛名書き枠	教科・領域等	国語
情報提供者	高等部 2年		

教材・教具写真 (規格：縦 16 cm×横 11 cm×高さ cm)




1 教材・教具の説明

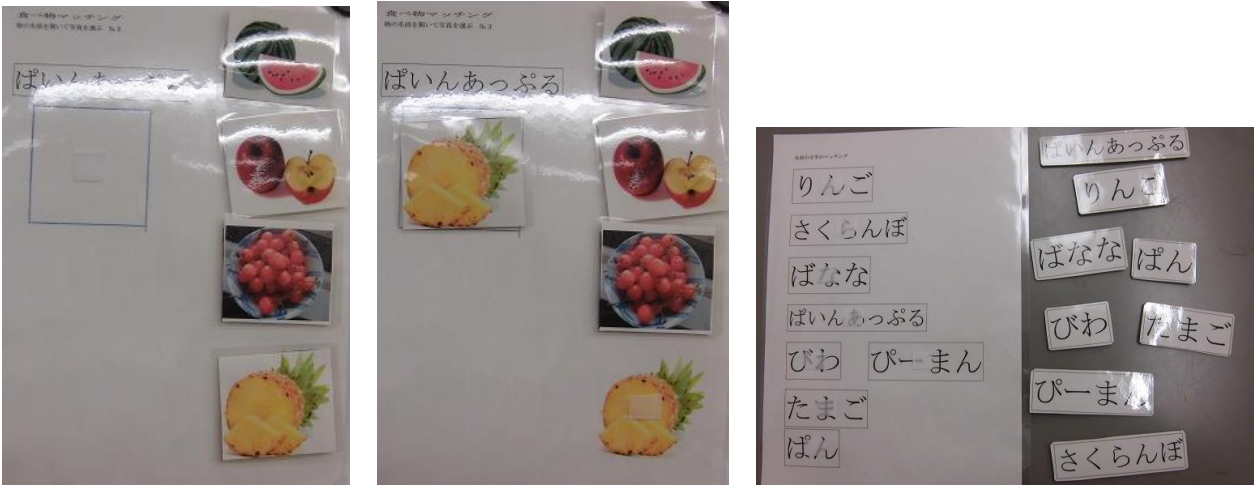
高等部2学年Ⅱ類型Cグループの国語で暑中見舞いの宛名書きのために作った。市販の物があつたのですが、ラミネートで試した。枠がずれないようにクリップで留めるとともに、生徒達自身、片手でしっかり押さえながら上手に書いていた。文字が枠からはみ出そうになったら、シートをめくったり、ずらしたりして臨機応変に書き込んでいる生徒もいた。

2 その他

予想以上に、ほぼ全員が、まっすぐきれいに書くことができたので、感動した。生徒達も出来上がりに満足そうであった。

参考文献・Web

教材・教具名	写真・文字マッチングシート	教科・領域等	国語
情報提供者	高等部 2年		
<p>教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm) A 4 版</p> 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○ 発話の無い生徒、自分で二語文以上の発話ができない生徒対象</p> <p>○ 文字が読めない・書けない生徒、正確に書けない生徒対象</p> <p>夏休みの生活を振り返り、国語で発表用に使用する。下の欄から自分で絵カードを選ぶことで意思表示をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに行きましたか。 ・何をしましたか。 <p>の二種類を用意した。なお、事前に生徒の「夏休みの生活」を見て、行ったところ・したこと の絵カードを用意した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が読めない生徒には、絵カードのマッチング教材も準備した。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	写真・文字マッチングシート	教科・領域等	国語
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm) ラミネートシート A4版			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>文字が読めない・書けない生徒、正確に書けない生徒対象 身近な物の名前（食べ物）の文字に関心を持ち、読んだり、マッチングしたりする。 発語の無い生徒には、教師が名前を読んで生徒に該当する写真を選ばせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真と写真のマッチング ・文字と写真のマッチング ・文字と文字のマッチング 			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	週間時間割	教科・領域等	日常生活の指導
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm) 		
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等部2年生I類型の週間時間割である。 ○ クラスの係分担でスケジュールが気になる生徒が週間時間割の係となっている。毎週金曜日に責任を持って教師とともに時間割をかえている。 ○ 帰る時間や給食の有無、式などスケジュールに特別なことがあっても生徒が見通しを持ちやすいように一目でわかるようにしている。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わからないことがあった時に人に質問するだけでなく、文字から情報を読み取る力をつけるという狙いがある。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	「シールを集めよう！」	教科・領域等	自立活動他
情報提供者	高等部 2年		

教材・教具写真 (規格：A4サイズ)



1 教材・教具の説明

3) 対象：肢体不自由を伴う重複障害児童・生徒

育てたい力：
 ・自分で集めたシールのポイント数と、色々な強化子を実現するためのポイント数を比較・検討しながら、自分のやりたい強化子を選択する力
 ・色々な活動に参加し、最後までやりきる力

4) 使い方：①「シールを集めよう」(トークン・エコノミー)：本人の大好きな活動为目标にして、朝の訓練やストレッチ、授業等、その日、本人が頑張れそうだと思う活動を確認して、シールの獲得を目指して努力する。



②シールを本人が獲得するごとに本人と一緒に確認・評価を行い、取組への意欲を強化する。

③同時にあといくつシールがたまると、どんな楽しい活動が選べることになるかも確認する。

2 その他

○シールを集めることで、自分の選べる活動の選択肢の幅が増えて行くことを励みにしながら意欲的に取組に臨み、多くの活動に最後まで参加することが、できるようになってきている。

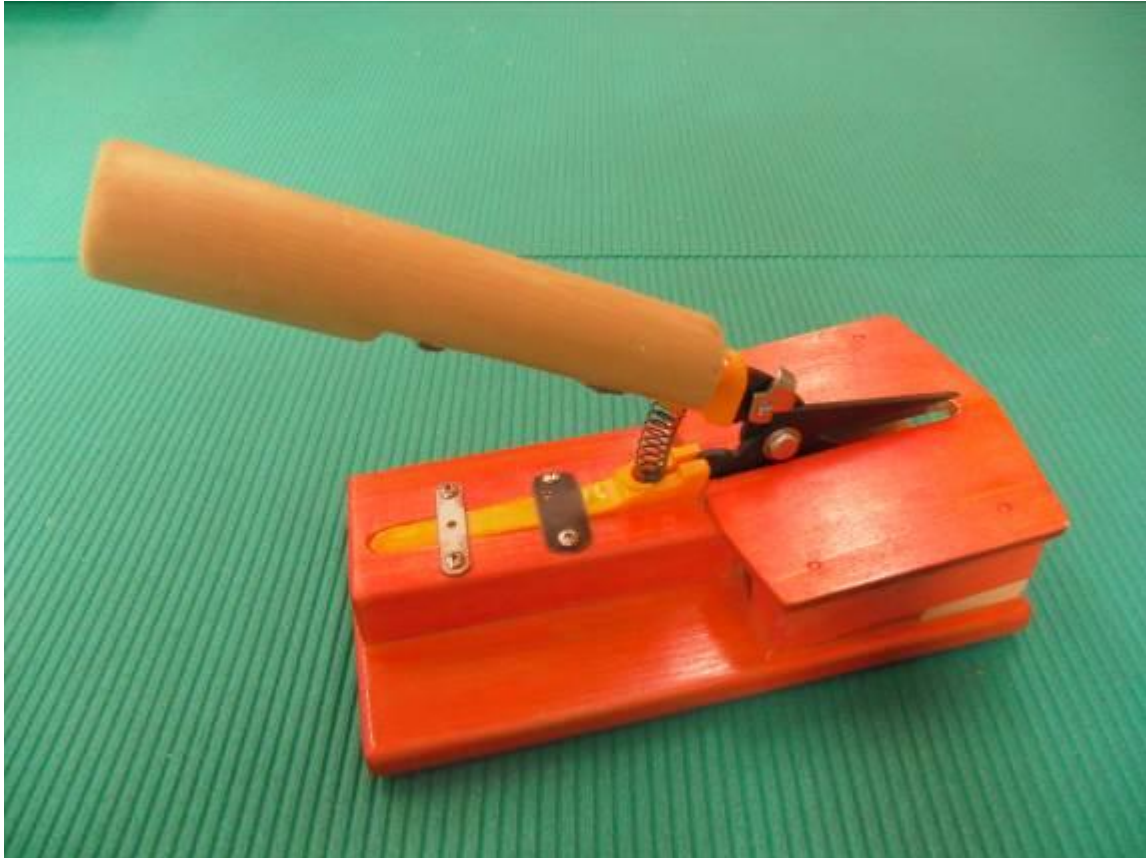
参考文献・Web

教材・教具名	バランスボードを使ったキャッチボール	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>左下肢機能障害の有る生徒がバランスボードに右足を乗せた状態でキャッチボールを行い、左足の筋力強化とバランス力の向上をはかる。</p>			
			
2 その他			
<p>ストレッチ等の体力作りはあまりやりたがらない生徒であるが、野球が好きなのもありバランスボードを使用してのキャッチボールは快く行っている。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	片手バサミ	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

情報提供者	高等部 2年
-------	--------

教材・教具写真 (規格：縦 10cm×横 15cm×高さ 8cm)




1 教材・教具の説明


- 片手で下方に押すだけで紙等を切ることができる。
- グリップを長くすることで少ない力で切ることができる。
- 紙用のはさみでなく、スニップスを使用するとで切断可能なものが増える。
- スプリング付きのはさみのため、押すだけの動作でよい。

2 その他

参考文献・Web



教材・教具名	ジョーズ (アトラクション体験) クルージングセット	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格: 縦 150cm×横 80cm×高さ 80cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行 (USJ) の事前体験学習として、船の揺れを感じながらクルージングに対するイメージや期待感を高めるために使用した。 ○ 合わせてプロジェクターで映像・音響を用いて臨場感を膨らます工夫を行った。 ○ 映像に合わせて教師がライフルやクラッカー、ヘッドライト、ライフジャケットなどを身に付けクルーにふんして演技を行うことでより実体験に近づけることができた。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	映像や台詞は You Tube より		

教材・教具名	簡単型抜き	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	高等部 2年		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
＜使用時のイメージ＞		＜上から見ると・・・＞	
			
＜材料＞薄いまな板・麺棒	落とし蓋・トング	組み合わせ途中	
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>野菜や果物を型抜きをするときに、力が弱いなど、型を直接押すことが難しい人のために作った。まな板の上に、型と同じ厚みの野菜や果物を置いて、握る部分を下に押し下げることによって、落とし蓋全体で型を押して、くりぬくことができる。また、結束バンドでとめているので、使用後には解体して、きれいに洗浄でき衛生的である。</p> <p>2 その他</p> <p>まな板を薄いものを使って、空間を作っているが、支点になる側が安定性にかけているので、教員が補助をする必要がある。改善の余地がある。</p>			
参考文献・Web			




教材・教具名	ボルトとナット、ボタン	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>Ⅲ類型は企業就労を目指している生徒が多数いるが、経験不足のためにできないことが多数ある。自力通学で早朝に登校した時間を利用して、何種類かの作業を課題として毎日行わせている。見本を示し、そのとおりにすべてのパーツを組み合わせたり、分解したりします。それを計時して、記録する。</p> <p>始めは、慣れない作業で時間がかかったり、状態をよく観察する力が弱くて間違えたりしたが、回数を重ねるごとに速くできる工夫や細部まで見本をよく見て行うことができるようになってきた。これからも新しい種目を入れながら行わせいきたいと思う。</p> <p>この教材は、見本をいろいろアレンジできるので、何度も繰り返し使うことができる。また、指先の巧緻性を高めることもできる。</p>			
<p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	辞書とセットのあいうえお表	教科・領域等	国語
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>国語で、辞書を引くことを学習した。Ⅲ類の生徒の多くは、卒業後社会人として企業等で働く生徒もいる。難しい言葉に出会うことも多いので、辞書を引くことを知ってほしいと思った。学習を始めると「あいうえお表」を暗記しており辞書をさっと引ける生徒と、「あいうえお表」を覚えてはいるものの、頭の中で唱えながら探すということができない生徒もいた。少しでも助けになればと作ったものである。これを見ながら字を探すことができるようになった。辞書は、手元に置きやすい小さいものを選んだが、外側から見て何行（あ行、か行）かわからないものなので、色分けをし、「あいうえお表」も辞書にぴったりのサイズになるようにしている。生徒が長く手元に置いて活用してくれることを願っている。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ボタンの仕分け	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○ 朝の学習で、軽作業訓練として取り組んでいる。見本と同じように、ボタンの大きさ、色、数を確認し、袋に丁寧に入れていく。ボタンは表裏あるのでその部分も間違わないよう指導する。手の巧緻性や、作業に対する集中力を養う目的で行っている。現在は、3組全員正確にできるようになった。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	教室でのルールカード	教科・領域等	日常生活の指導他
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真 (規格: 縦20cm×横12.5cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">A</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">B</div>  </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>自閉傾向があり言葉による指導が困難な生徒に対しての視覚支援カードである。</p> <p>A: パンフレットや冊子に執着し、学級や教師用の収納棚を無断で開けて、お目当ての物品を自分のかばんや机にしまいこむことがあった。教師の許可を得て、手に入れる、または我慢する、経験の機会を増やすねらいで掲示している</p> <p>B: 手洗いの際に、水圧をいっぱいにした上に手を激しくすり合わせるので、水が衣服や床にたくさん飛び散っていた。手洗い時に一番目に付く場所に掲示して、水圧への言葉掛けと併せて、穏やかな手洗いの支援となっている。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	○飲み物カードのマッチング ○数字のマッチング (ワークシステム)	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>自閉症の生徒のための自立課題として作成した。ワークシステムで毎日のスケジュールの中(自立課題として)で取り組ませている。対象生徒は視覚的能力が高く、微細な形でも見分けることができる。「飲み物カードのマッチング」は対象生徒のお気に入りのメーカーのもので、76種類の異なるお茶のカードを見分け、同じ2枚を重ねて並べる課題である。「数字のマッチング」はTTAPアセスメントにも出てくる課題で、5桁の任意の数字をマッチングさせ、並べて入れる課題である。本人がこのアセスメントを受けたとき、得意とする課題だったので採用した。</p> <p>毎朝、設定した個別スペースに自主的に入り、課題を一人で全て済ませる。設定課題が終わると「できました」のボックスにカードを入れ「完了」させる。課題は他にも作っており、取り組み時間の関係で変更したりもする。取り組んでいる間は黙々と集中して取り組むことができている。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ビーズ仕分けセット	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真	<p>(規格<BOX> : 縦 10cm × 横 25cm × 高さ 4cm) (規格<ビーズ> : 縦 5mm × 横 3mm × 高さ 2mm) (規格<ビーズ> : 縦 2mm × 横 2mm × 高さ 1.5mm)</p>   		
1 教材・教具の説明	<p>大きさ・色・形状が異なる10種類のビーズを、ピンセットを使ってBOXに仕分ける課題である。仕分けが終わったら輪ゴムをはずし、蓋を閉じて完成となる。</p> <p>ビーズは軽量で小さい為、ピンセットを使って掴むには手先の巧緻性が必要である。また、同じ色でも大きさが異なるビーズがある為、集中して見る力の強化にも繋がると考えた。自閉症・多動の生徒が多いクラスだが、細かい活動をする事で落ち着く生徒が多く、毎朝の自立活動として集中して取り組むことができている。</p>		
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	大きなボルトとナット	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年		
<p>教材・教具写真 (＜ボルト＞規格：縦 2.9cm×横 2.9cm×高さ 1.5cm) (＜ナット＞規格：縦 2.9cm×横 2.9 cm×高さ 11.2cm)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>直径が2.9 cm ある大きなボルトとナットである。重さもかなりあるため、両手でしっかり保持しないと組み立てることができない。片手で物を持ち、もう片方の手首を使って、物を操作する動きの練習に効果的である。また、組み立て・分解の二つの工程で、右回し・左回しの練習ができる。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <p>水筒のふたを自分で 開けられるように なりました！</p> </div> </div> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	豚玉ランチのレシピと盛り付け練習用模型	教科・領域等	生活単元学習
情報提供者	高等部 3年		
<p>教材・教具写真 (規格：縦 50cm×横 60cm×高さ 10cm)</p> <p>☆レシピと模型</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○ テレビで、地元広島県のご当地レシピとして紹介された「豚玉ランチ」のレシピと盛り付け練習用の模型である。調理実習に向けて取り組んだ。実習の目的は、家庭で家の人と一緒に楽しく料理を作る、ということである。そのために簡単で自分ひとりでも取り組むことができる工程があることを想定した。</p> <p>○ その工程として盛り付けに注目した。どんぶりに盛ったご飯にふりかけをかけ、炒めた豚肉と目玉焼きをのせ、味付けで好みソースとマヨネーズをかけて完成である。レシピも見ながら、紙粘土でできた模型で何回か練習して取り組んだ。</p> <p>○ 調理実習は二回行ったが、自分で盛り付け、完食できた。</p> <p>○ 模型は紙粘土で形を作り、水彩絵の具で着色したものである。(ご飯粒は発泡スチロールの玉)</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	トーンチャイム演奏 ほか	教科・領域等	自立活動など
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>上肢の伸展を利用して操作する補助用具。</p> <p>付ける物を変えることで、様々な活動で活用した。実践では、トーンチャイムの演奏、輪投げゲーム（輪を落とす）などで活用した。</p> <p>生徒の実態から、授業や活動が変わっても、本人が行う活動を変えず同様の操作を行っていくことで、分かりやすくし、自発的な動作・参加を引き出していった。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	万能ダンボールパーテーション	教科・領域等	自立活動など
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
特殊な大きな机にも対応	角度の付いた机にも対応 教材の設置も可能	臥位での活動にも対応	
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>応用性、加工性、安全性、コスト性、収納性において、既製品よりもはるかに優れたダンボールパーテーションである。</p> <p>例えば、以下のようなメリットがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きさ（幅・高さ）など、生徒の実態や状況の変化（車椅子の大きさ・使用する机の大きさ）に応じて、加工・変更ができる。（指導する過程で、生徒の状況は変化しうるものであり、また、実際に使用すると指導計画段階で想定していた実態と異なっていたということもよくあるが、その変化に即座に細かく対応できる。） ○ パーテーションに穴を開けるなどして、必要な教材を設置することも可能である。 ○ 特別に難しい道具を使用しなくてもカッターなどを利用するだけで加工・変更できる。 ○ 机上での設置も可能だが、床から設置すれば、机が揺れて倒れることはない。また、床から設置すれば、車椅子の生徒がチルティングをして角度の付いたカットアウトテーブルにも、倒れることなく設置できる。 ○ パーテーションを立てるためのキャスターやレールはなく、キャスターなどに足を引っ掛けて転倒する危険性はない。 ○ 臥位での学習、導尿・おむつ交換などにおいて、マットの上でも立てることができ、万一倒れても安全である。 ○ 汚れたり、加工に失敗したりしても気軽に交換ができる。（無料で交換でき、資源ごみになる。） ○ コンパクトに収納できる。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	学級旗の支持グッズ	教科・領域等	自立活動
情報提供者	高等部 3年		
教材・教具写真			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>体育祭のときに、自力で学級旗を持ち続けることが困難な生徒に対し、疲れた時には手を添えるだけでも学級旗を支えることができるような支援グッズを製作した。一般でよく見かける応援団の旗支えがこのグッズのヒントになっている。ウエストポーチをお腹に巻き、白い筒の中に学級旗を入れることで、手に加えてお腹でも旗が支えられるようになっている。</p> <p>2 その他</p> <p>実際の体育祭は、このグッズを装着することで、生徒が学級旗を落とすことなく支え続けることができ、生徒が立派に旗手係を努めることができた。</p>			
参考文献・Web	特になし		